

ゼロから
始める

防災 訓練

～地域を守る訓練の指南書～



はじめに

平成30年7月豪雨災害では、岡山市でも甚大な被害に見舞われ、改めて地域防災力の重要性を痛感することになりました。

地域においても様々な防災活動が行われているところですが、町内会、自主防災会、PTA等の任意団体や企業等で防災訓練を実施しようとしたとき、「何から手をつければいいのかわからない。」といったことがあります。

このハンドブックは、防災訓練の主催者を支援することを目的に、防災訓練を実施する際のはじめの一步の参考資料として、作成したものです。

ひとたび大きな災害が発生すれば、昨日までの日常は激変し、大きなストレスを抱える日が続くこととなります。災害を想定した日ごろからの訓練や備えは、命を守る、ケガをしない、建物が壊れないといった直接的な被害だけではなく、被災後の生活で抱えるストレス等の二次的な被害からも自分たちを守ることができます。

この冊子を参考に地域で防災訓練を企画・実施していただくことによって、防災について考える機会が増え、少しでも市民のみなさんの災害への備えに繋がれば幸いです。

みなさんが実際に防災訓練を企画・実施し、打ち合わせ等を行う中で出てきた課題や新たな訓練のアイディアは、このハンドブックに反映したいと考えています。お気軽に、情報、ご意見等をお寄せください。



目次

第1章 自主防災会とその活動	
防災コラム 1 災害の現場でホッとする瞬間	1
第2章 防災訓練実施の手順	
防災コラム 2 盛り上がる防災運動会！	5
第3章 防災訓練のメニュー	
防災コラム 3 初期消火はどこまでがんばる？	7
(1) 運営本部訓練	9
(2) 初期消火訓練	10
(3) 避難誘導訓練	12
(4) 応急救護・救出訓練	15
(5) 情報収集・伝達訓練	18
(6) 給食・給水訓練	22
(7) 避難所運営訓練	24
(8) その他の訓練	27
第4章 防災訓練サンプルプラン	
防災コラム 4 あなたにとっての最大のリスクは…？	35
1 じっくりコツコツやるんだプラン	36
2 好循環が生まれる充実プラン	38
3 他団体もびっくり興味津々プラン	40
実際にどんな訓練をしているの？ vol.1	42
第5章 訓練等で注意すること	
防災コラム 5 防災は自己責任??	43
(1) 個人情報に関すること	44
(2) 防災行事に必要な手続きなど	46
(3) 権利侵害など	47
どーすりゃあええ？～自主防災会の結成手続～	48
第6章 資料集	
(1) 防災・減災関連の各種研修	50
(2) 岡山市及び関係機関等の防災・減災関連事業	51
(3) 岡山市近隣の防災センター	52
(4) 防災マニュアル等一覧	53
(5) 催し物で食品を取り扱う方へ	54
(6) 催し（イベント）における防火安全対策の強化	55
(7) 南区自主防災会一覧	57
(8) 訓練をする場合の相談先一覧	59
実際にどんな訓練をしているの？ vol.2	60



第1章

自主防災会と その活動

この章では、自主防災会の役割分担とその活動内容について説明します。ただし、自主防災会の活動は、「こうでなくてはならない。」というものではありません。地域の実情に応じて、地域みなさんで活動内容を考えてみてください。

防災コラム① 災害の現場でホッとする瞬間

南海トラフの巨大地震は30年以内の発生確率が70%と言われており、発生すれば多くの方が被災すると想定されていますが、そうは言っても、一般の市民が大きな災害に遭うなんてことは、一生に一度あるかないか。

ただし、自衛隊、災害医療に携わる医師等の専門的な技術・知識を持つ人たちは、被災地に赴き、混乱し凄惨で劣悪な環境の中で、懸命に人命救助や復旧作業などを行っています。何度経験しても慣れることはなく、PTSD（※1）を抱えて活動されている方もおられるそうですが、そんな現場でもホッとできるのは、過去に他の災害現場と一緒に活動をした人と再会したときだそうです。いつもは違う現場でがんばっている知り合いが、同じ現場で懸命に活動する姿を見ると、お互いに気持ちも落ち着き、新たな気力が湧いてくるそうです。

災害に遭った大きなストレスの中にあっても、地域の中に知り合いがいるということは、私たち自身の心の支えになるのかも知れません。

※1 PTSD…PTSDとは外傷後ストレス障害（PostTraumatic Stress Disorder）の略語です。生死にかかわるような実際の危険にあたり、死傷の現場を目撃したりするなどの体験によって強い恐怖を感じ、それが記憶に残ってこころの傷（トラウマ）となり、何度も思い出されて当時と同じような恐怖を感じ続けるという病気です。（厚生労働省HPより）





岡山市には、地域防災計画があるのは知ってるかの？



そういう計画があるというのは聞いた気がするけど、内容まではよく知らないなあ…。



うむ。実は、この計画では、行政機関等の災害対策のほかに、「市民の役割」も計画されているんじゃ。



そうなんだ…。例えばどんなこと？



普段から、「備蓄をしよう」とか、「家の耐震対策をしよう」とか、「防災訓練をしよう」とかじゃな。で、いざ災害がおこったら、「助け合おう」とか、「避難所は自分たちで運営しよう」とか、そういう感じじゃな。



なるほど～。まあ、確かにそれはそうかなって思うけど、なんか「ま、いっか」みたいになっちゃってるかも。それに、避難所の運営なんかはよくわかんないよ。



そうなんじゃ。だから、岡山市では、防災活動の中心的な存在として、地域で「自主防災会」を作って、活動してもらう取り組みをすすめておるんじゃ。



へえ…。じゃあ、その「自主防災会」っていうのはどんなものなの？



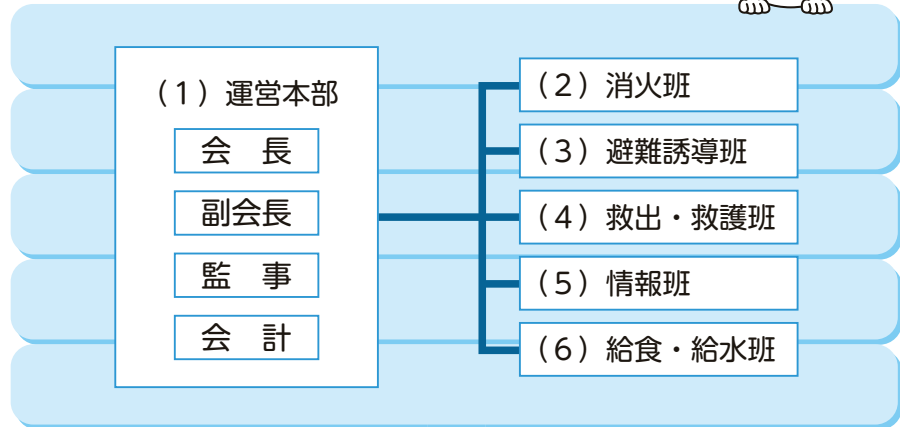
うむ。「自主防災会」は防災の活動をする地域の人々の団体じゃ。町内会や小学校区という単位で作ることが多いんじゃ。



具体的にはどんな感じになるの？



それは、こんな感じじゃ。



【図1 自主防災会組織図 (例)】



これは例じゃ。実際の役割分担は、地域の実情に応じて、やりやすいように工夫すればいいんじゃ。

自主防災会って何をするの？

うむ。大きく分けると災害の「前」と「後」の2種類の活動じゃな。

災害の「前」は何をするの？

主には、「啓発」「訓練」「計画づくり」。「日ごろの3K」じゃ。
詳しくは4ページの【日常の活動】を参照するんじゃ。

じゃあ、災害の「後」は？

「(避難)誘導」「救助」「自治」。YKJ。復興に向けて「行(ゆ)くじよ」じゃ。
詳しくは4ページの【非常時の活動】を参照するんじゃ。

「行(ゆ)くじよ」ねえ…。まあ、避難誘導救助は何となくわかるけど…自治ってなに？

具体的には「避難所の運営」じゃな。

避難所の運営…？
それはどんなことをするの？

具体的には、避難所の鍵を開ける、避難所の使い方を決める、避難してきた人の
名簿を作る、支援物資を配る、避難者の食事を用意するみたいなことじゃ。

えー!? そんなことをしないとイケないの？

誰かがせにゃあおえんからのう…。

役所はしてくれないの？

そうじゃな。過去の大きな災害の経験から、役所ではできんという現実が見えて
きたというところじゃな。

そうなんだ…。でも、そんなことできるかな…。

現実には、できることしかできんのじゃ。
ただ、「日ごろの3K」でできることを増やしておけば、その地域は復興に向けて
歩んで行きやすくなる、ということなんじゃ。

どの自主防災会でも、同じことをするの？

よそと同じことをする必要はないんじゃ。
過去の災害から、避難所の環境は、避難所ごとで全く違うことがわかっておる。
それは、その地域ごとに、地理的なこと、住んでいる人、防災対策や被害の状況
などが違うからじゃ。だから、自分たちの地域に必要なだと思うことを、「日ごろの
3K」を通して、少しずつ積み重ねればいいんじゃ。

「日ごろの3K」が大切なんだね。

そうじゃ。自主防災会の活動のほとんどは「日ごろの3K」なんじゃ。次の表も参
考に、何をするか地域で考えてみて欲しいんじゃ。

	I 【日常の活動】 災害の前	II 【非常時の活動】 災害の後
(1) 運営本部	<ul style="list-style-type: none"> ・規約の作成 ・組織の役割の明確化 ・年間防災計画を立案 ・公的防災機関等との連携の確保 ・訓練の企画立案 	<ul style="list-style-type: none"> ・本部員の招集 ・役割分担の確認 ・各班の活動の統制 ・公的防災機関等との連絡調整
(2) 消火班	<ul style="list-style-type: none"> ・出火防止の啓発 ・火気器具、危険物の保管・管理、プロパンガスボンベの転倒防止等の呼びかけ ・消火用水の確保や街頭設置の消火器の点検 ・初期消火訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ・出火防止及び初期消火 ・消防機関への協力 ・出火予防のパトロール
(3) 避難誘導班	<ul style="list-style-type: none"> ・非常持出袋等の避難時の対策の啓発 ・一時集合場所、避難場所への経路の確認 ・危険箇所(がけ、ブロック塀など)の確認 ・避難訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難場所、避難路の安全確認及び危険箇所の表示 ・公的防災機関への連絡 ・避難情報の伝達 ・避難広報の実施 ・避難場所等での秩序の維持
(4) 救出・救護班	<ul style="list-style-type: none"> ・家の耐震化、家具の転倒防止等の地震対策の啓発 ・地域内の高齢者、乳幼児、病人、障がい者等の状況の確認 ・応急医療薬品及び資機材の備え ・救出・救護訓練の実施 ・応急手当の方法の習得 	<ul style="list-style-type: none"> ・負傷者の把握 ・救出活動、救急手当 ・負傷者を救護所などに搬送 ・高齢者、乳幼児、病人、障がい者等の安全確保 ・被災者の健康状況を観察し、必要に応じて医療機関等に相談
(5) 情報班	<ul style="list-style-type: none"> ・地震についての正しい知識の普及 ・映画会、懇談会等の開催 ・防災マップ等の作成を通じた、地域防災意識の醸成 ・巡回広報、情報収集・伝達等の訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ・公的防災機関から発表される災害情報の地域住民への広報 ・地区内の被害状況及び必要な情報の把握 ・避難所等に情報を掲示 ・公的防災機関等への救急連絡
(6) 給食・給水班	<ul style="list-style-type: none"> ・食料、飲料水等の備蓄の呼びかけ ・衛生状況を保つ知識の習得 ・必要な資機材の確保と点検 ・炊き出し訓練 ・給水訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所の食事の献立の立案 ・必要に応じた炊き出し ・食料、救援物資の調達、配分 ・衛生状況を清潔に保つ

第2章

防災訓練実施 の手順

この章では、防災訓練を実施するまでの大まかな手順を紹介します。初めて実施するときや、久しぶりに実施するときなどには、この手順を参考に準備してみてください。

防災コラム② 盛り上がる防災運動会！

他都市には、訓練のメニューを運動会の種目と考えて、「防災運動会」を実施している地域もあります。「対抗」となるとなんとなく燃えてくる心理を利用して、防災訓練を楽しくしようとする工夫の一例です。

いきなり防災関連のメニューだけで運動会を企画するのはなかなか難しいことですが、地域の運動会の種目として、例えば障害物競走の一つの障害として、消火訓練やバケツリレー等の防災訓練のメニューを組み込むといったことも面白いかもしれませんね。





第3章

防災訓練の メニュー

この章では、さまざまな訓練メニューの実施方法を紹介します。第1章で紹介した各班に対応する形でメニューをまとめているので、それぞれの自主防災会の役割分担に合ったメニューを参考にしてみてください。

防災コラム③ 初期消火はどこまでがんばる？

そもそもですが、火が出たら、まずは119番。

「早く消さなきゃ!」「近所に知られたら恥ずかしい…」 「これくらいの火なら…」 など、いろんな感情の中で、自力で消火しようがんばってしまいがちですが、初期消火ができなかったときに、少しでも早く消防隊が消火活動を始められるようにするためにも、119番への通報は必須です。

自力で消火できる目安は、炎が天井に届くまで。そこまで炎が大きくなると、消火そのものも難しいですし、何より煙に巻かれる危険がとても大きくなります。

火災の煙には有害物質も含まれており、思っている以上に早く体が動かなくなります。消火をあきらめて逃げようと思っても、逃げるならあれを持って、これも持って…と考えて、なかなか全てを捨てては逃げにくいもの。そんな迷いの時間があることも踏まえて、119番と身の安全の確保を忘れないようにしてください。




【訓練シートの見方】

訓練対象の班です。
地域の役割分担に応じて読み替えてください。

訓練の名前です。

訓練の主な目的です。

(1) 運営本部 【訓練 1】 広報・活動実績展示



訓練のイメージです。
実施するときには、地域の実情に応じて工夫してください。

訓練の目的	防災活動をPRし、活動への理解と防災の取り組みを深めます。		
	防災に関する活動などのPRです。 過去の訓練の様子のパネル ・参加者からのアンケート結果 ・防災新聞のような広報紙 ・啓発ポスターやチラシなどを展示します。		
訓練種別	自主実施型	対象年齢	特にありません
開催場所	屋内推奨	推奨人数	特にありません
雨天対応	○	所要時間	特にありません
実施条件	特にありません		
費用の目安	10,000円未満	・展示物作成・貼り付け用品等の消耗品代 ・写真の印刷代 など	
主催団体が準備するもの(例)	用紙、パネル、ガムテープ、押しピン・飾り付け用品		
相談先・依頼先	危機管理室 (他の団体のパネル作成例 など) 公民館 (パネル作りのアドバイス など)		
その他	・展示物は、対象とする参加者の年齢層をイメージすると良いでしょう。 ・屋外や体育館などに展示すると意外と目立ちませんので、 がよいでしょう。 ・展示物を継続して利用する場合は、ラミネートによる加工		

訓練内容の概要です。

費用の目安や、その用途の例です。

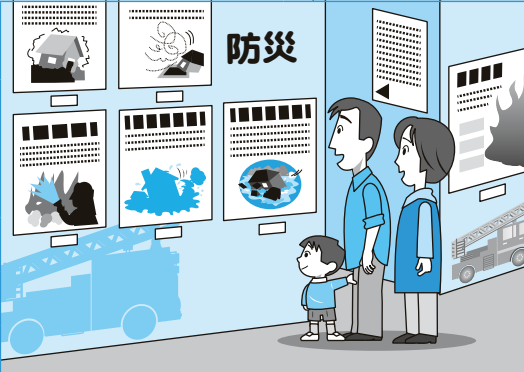
訓練種別…訓練方法の種類です。
開催場所…訓練にお勧めの場所です。
雨天対応…雨天の適応性を◎、○、△、×の4段階で表しています。
実施条件…訓練をする場合の条件です。
対象年齢…訓練が想定している年齢です。ある程度調整できます。
推奨人数…訓練を実施するのに適した1グループの人数です。参加者のグループ分けの参考にしてください。
所要時間…推奨人数で実施する時の大体の訓練時間です。

主催者が用意する主なものです。詳細は相談先、依頼先と協議してください。


訓練実施のための相談先や依頼先です。日程調整等も必要なため、希望日に対応でないことがあります。余裕を持ってご連絡ください。

その他、よりよい訓練にするためのアドバイスや注意事項などです。


(1) 運営本部 【訓練1】 広報・活動実績展示

	訓練の目的	防災活動をPRし、活動への理解と防災の取り組みを深めます。		
		防災に関する活動などのPRです。 過去の訓練の様子のパネル ・参加者からのアンケート結果 ・防災新聞のような広報紙 ・啓発ポスターやチラシなどを展示します。		
	訓練種別	自主実施型	対象年齢	特にありません
	開催場所	屋内推奨	推奨人数	特にありません
	雨天対応	○	所要時間	特にありません
実施条件	特にありません			
費用の目安	10,000円未満	・展示物作成・貼り付け用品等の消耗品代 ・写真の印刷代 など		
主催団体が準備するもの(例)	用紙、パネル、ガムテープ、押しピン・飾り付け用色紙 など			
相談先・依頼先	危機管理室(他の団体のパネル作成例 など) 公民館(パネル作りのアドバイス など)			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・展示物は、対象とする参加者の年齢層をイメージすると良いでしょう。 ・屋外や体育館などに展示すると意外と目立ちませんので、展示物の大きさは、A3サイズ以上にするのが良いでしょう。 ・展示物を継続して利用する場合は、ラミネートによる加工などを検討しても良いでしょう。 			


(1) 運営本部 【訓練2】 運営本部参集訓練

	訓練の目的	災害時の地域の運営本部の参集方法を習得します。		
		地域内の拠点に主要な役員が集まる訓練です。実際に集まるだけでなく、さまざまな災害発生時刻を想定して、その時刻だったらどうなるか、といったことを話し合うなどしても効果的です。		
	訓練種別	自主実施型	対象年齢	成人
	開催場所	屋内推奨	推奨人数	10名程度
	雨天対応	○	所要時間	20分～30分
実施条件	特にありません			
費用の目安	ほぼ不要	・話し合いをする場合は消耗品代 など		
主催団体が準備するもの(例)	話し合いをする場合のメモ用紙、筆記用具 など			
相談先・依頼先	危機管理室(他の団体の訓練の情報収集 など)			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめ、地域の中で運営本部に集まる場所、人、を決めておく必要があります。 			


(2) 消火班【訓練3】火災予防講習

	訓練の目的	火事を予防する方法や、火が出てもその火が小さいうちに消す方法を学びます。		
	火災の予防や、初期消火に関連する日ごろの心構えや行動の講話です。			
	訓練種別	出前講座型	対象年齢	小学生以上
	開催場所	屋内推奨	推奨人数	20人以上
	雨天対応	○	所要時間	10分～30分
実施条件	消防署に講師を依頼する場合は、複数の訓練と組み合わせてください。また、参加者20人以上を目安にしてください。			
費用の目安	ほぼ不要	・消防署の職員以外の方が講師をする場合は、講師謝礼など		
主催団体が準備するもの(例)	机、イス、マイク(拡声器)、電源 など			
相談先・依頼先	地域を所管する消防署(講師の依頼、実施日の調整 など)			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練の冒頭を実施すると効果的です。 ・実施日を決めるときは、依頼先と話し合いをしてください。 ・講習の内容は所要時間、訓練のテーマ、参加者の対象年齢に応じて調整することができます。詳細は直接講師とご相談ください。 ・大学や研究機関等の専門家に依頼する場合は、専門家本人または専門家が所属する組織に、直接ご相談ください。 			

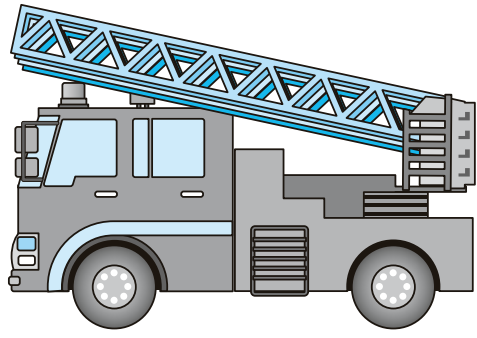
(2) 消火班【訓練4】模擬消火器を使った消火訓練

	訓練の目的	消火器の使い方を習得します。		
	模擬消火器を使って消火器の使い方を習得する訓練です。模擬消火器に水を入れて、目標物を狙って放水します。			
	訓練種別	出前講座型	対象年齢	小学生以上
	開催場所	屋外	推奨人数	1グループ10人程度
	雨天対応	△	所要時間	10分～20分
実施条件	消防署に講師を依頼する場合は、複数の訓練と組み合わせてください。また、参加者20人以上を目安にしてください。			
費用の目安	ほぼ不要	・消防署の職員以外の方が講師をする場合は、講師謝礼など		
主催団体が準備するもの(例)	特にありませんが、詳細は、訓練の依頼先と打ち合わせをしてください。			
相談先・依頼先	地域を所管する消防署(講師の依頼、資機材の借受、実施日の調整など)			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・実施日を決めるときは、依頼先と話し合いをしてください。 			


(2) 消火班【訓練5】バケツリレー訓練

	訓練の目的	バケツリレーによる消火方法を習得します。		
		バケツリレーで水を運ぶ訓練です。用水、池、防火水槽のようなところから、ポリバケツに水を運んだり、ポリバケツからポリバケツに水を運んだりします。		
	訓練種別	自主実施型	対象年齢	小学生以上
	開催場所	屋外	推奨人数	20名以上
	雨天対応	△	所要時間	20分～40分
実施条件	特にありません			
費用の目安	ほぼ不要	・バケツやひしゃく類がない場合は、購入費用として消耗品代 など		
主催団体が準備するもの(例)	バケツ、ひしゃく など			
相談先・依頼先	特にありません			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の年齢に応じた大きさのバケツを用意してください。 ・意外に重いので、高齢者の方の場合はケガに注意してください。 ・地域の運動会の種目にするなど、訓練以外の行事でも実施することができます。 			


(2) 消火班【訓練6】消防車展示

	訓練の目的	消防車の種類や活動を学びます。		
		消防車を展示します。		
	訓練種別	出前講座型	対象年齢	特にありません。
	開催場所	屋外	推奨人数	特にありません。
	雨天対応	○	所要時間	特にありません。
実施条件	小学校区程度の区域を対象とした訓練であることが目安です。			
費用の目安	ほぼ不要	特にありません。		
主催団体が準備するもの(例)	特にありません。			
相談先・依頼先	地域を所管する消防署（実施日の調整 など）			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・記念写真を撮ることなどもできます。 			


(3) 避難誘導班【訓練7】防災マップづくり

	訓練の目的	地域が抱えている危険場所を調べることで、避難経路の安全性を確認します。		
		地域の防災マップを作成します。防災マップの作り方の講話を聞いた後、実際に地図を作るために地域に出て、情報を集め、地図を作っていきます。地域の地図から作ったり、既存の地図に追記したりします。		
	訓練種別	ワークショップ型	対象年齢	小学生以上
	開催場所	屋内・屋外	推奨人数	1グループ8人程度
	雨天対応	○	所要時間	60分～
実施条件	特にありません			
費用の目安	10,000円未満	<ul style="list-style-type: none"> ・地図、ペン、等の消耗品代 ・時期によっては参加者へのお茶代 ・専門の講師を呼ぶ場合は、講師謝礼 など 		
主催団体が準備するもの(例)	地域の地図、筆記用具、付せん紙、メモ用紙(A4)、バインダー、カラーマジック、のり、はさみ など			
相談先・依頼先	危機管理室(他の団体の訓練の情報収集、助成の相談 など) 南区役所総務・地域振興課(専門家派遣 など)			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に地図として成果が残ります。 ・この地図を利用して、次の防災の活動に繋げることができます。 ・防災マップを印刷する場合には、危機管理室の助成を受けることができます。 			


(3) 避難誘導班【訓練8】避難訓練

	訓練の目的	地域の参集場所、避難場所、避難経路を確認します。		
		避難場所まで避難する訓練です。大きく分けると、①自宅(や勤務地)から最寄りの避難場所まで②自宅(や勤務地)から地域の参集場所に集合して、最寄りの避難場所までの2パターンの避難訓練があります。		
	訓練種別	自主実施型	対象年齢	特にありません
	開催場所	屋外	推奨人数	特にありません
	雨天対応	○	所要時間	20分～60分
実施条件	特にありません			
費用の目安	ほぼ不要	<ul style="list-style-type: none"> ・誘導用の表示をする場合の消耗品代 		
主催団体が準備するもの(例)	プラカード、はり紙 など			
相談先・依頼先	特にありません			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・他の訓練メニューの前段として、実施することもできます。 			


(3) 避難誘導班【訓練9】要介護者搬送訓練

	訓練の目的	要介護者を搬送する方法を習得します。		
		被災場所から避難場所まで要介護者を搬送する訓練です。要介護者役の人を、・自動車で運ぶ・人力で運ぶ・担架を使って人力で運ぶなど、いくつかのバリエーションがあります。実際に人を運ぶことを体験することで、ノウハウや課題を共有することができます。		
	訓練種別	自主実施型	対象年齢	高校生以上
	開催場所	屋外推奨	推奨人数	1グループ8人程度
	雨天対応	△	所要時間	20分～60分
実施条件	消防署に講師を依頼する場合は、複数の訓練と組み合わせてください。また、参加者20人以上を目安にしてください。			
費用の目安	10,000円未満	・初めて実施する場合には、消耗品代、備品代 など		
主催団体が準備するもの(例)	運搬用の担架、竿、毛布、ゼッケン など			
相談先・依頼先	地域を所管する消防署（講師の依頼、資機材の借受、実施日の調整など）			
その他	・訓練に必要なものは、依頼先とよく相談してください。			


(3) 避難誘導【訓練10】引き渡し訓練

	訓練の目的	子どもを迅速・確実に保護者に引き渡す方法を習得します。		
		子どもが学校などにいるときに災害が発生したことを想定して、子どもを早く、確実に保護者に引き渡す訓練です。基本的には、学校等が保護者を対象に実施しますが、地域の防災訓練などに合わせて実施することもできます。		
	訓練種別	自主実施型	対象年齢	高校生以下
	開催場所	屋内推奨	推奨人数	特にありません
	雨天対応	△	所要時間	15分～30分
実施条件	特にありません			
費用の目安	ほぼ不要			
主催団体が準備するもの(例)	特にありません（詳細は、訓練を実施する学校と打ち合わせをしてください。）			
相談先・依頼先	各学校等（実施日、実施方法の相談 など）			
その他	・各学校等で訓練は実施していると思いますので、それとは別に実施をしたい場合は、各学校等とよく相談してください。			


(3) 避難誘導班【訓練11】煙道体験

	訓練の目的	火災時の避難方法を体験して学びます。		
	閉鎖空間を仮設し、その中に無害な煙を充満させることで、火災時の状況を再現した中で、避難訓練をします。火災時の視界の悪さや、避難時の姿勢などを体験することができます。			
	訓練種別	出前講座型	対象年齢	小学生以上
	開催場所	屋外推奨	推奨人数	1グループ8人程度
	雨天対応	△	所要時間	5分～10分
実施条件	消防署に依頼する場合は、複数の訓練と組み合わせてください。また、参加者20人以上を目安にしてください。			
費用の目安	ほぼ不要	・閉鎖空間を自作する場合は、消耗品代 など		
主催団体が準備するもの(例)	特にありません(詳細は、訓練を実施する消防署と打ち合わせをしてください。)			
相談先・依頼先	地域を所管する消防署(講師の依頼、資機材の借受、実施日の調整など)			
その他	・屋外にテントで仮設するほか、学校の渡り廊下にビニールシートや段ボールなどで仮設することもできます。			


(3) 避難誘導班【訓練12】避難場所参集訓練

	訓練の目的	より身近である地域の一時避難場所について学びます。		
	地域で決めた一時避難場所に参集する訓練です。			
	訓練種別	自主実施型	対象年齢	特にありません
	開催場所	屋外	推奨人数	特にありません
	雨天対応	○	所要時間	5分～30分
実施条件	特にありません			
費用の目安	ほぼ不要	特にありません		
主催団体が準備するもの(例)	特にありません			
相談先・依頼先	特にありません			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめ防災マップなどを作成し、地域の一時避難場所を決めておく必要があります。 ・防災訓練や避難訓練のときだけでなく、清掃などの地域の行事などで集合するときに、実施することもできます。 ・非常持ち出し袋を持って避難してもらうなどしても効果的です。 			


(3) 避難誘導班【訓練13】要支援者の把握活動

	訓練の目的	災害時に要支援者を適切に支援するための情報を整理します。		
		地域内で支援が必要な人を把握します。市から提供される情報に基づき、要支援者マップを作る、現地調査を行う、要支援者の状況を把握する、支援方法を検討するなどします。		
	訓練種別	自主実施型	対象年齢	特にありません
	開催場所	屋外	推奨人数	特にありません
	雨天対応	△	所要時間	30分～120分
実施条件	特にありません			
費用の目安	ほぼ不要	・地図や台帳を作る場合は消耗品代 など		
主催団体が準備するもの(例)	筆記用具、バインダー、要支援者名簿 など			
相談先・依頼先	特にありません			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、地域で支援が必要な人を別途把握してもよいでしょう。 ・どの要支援者を誰が支援するのかを予め決めるなどしてもよいでしょう。 			


(4) 救出・救護班【訓練14】救命救急訓練

	訓練の目的	救命救急の方法を習得します。		
		人形を使って、胸骨圧迫、人工呼吸、AEDの使い方などを習得します。一連の流れを人形や研修用AEDで体験することができます。あわせて、ケガ人等を見つけたときの対処方法、注意事項なども学びます。自然災害だけではなく、日常の中での事故、ケガ、急病のときにも役に立ちます。		
	訓練種別	出前講座型	対象年齢	中学生以上
	開催場所	屋内	推奨人数	1グループ10人程度
	雨天対応	◎	所要時間	120分～
実施条件	参加者20人以上を目安にしてください。			
費用の目安	ほぼ不要	特にありません		
主催団体が準備するもの(例)	特にありません（詳細は、訓練の依頼先と打ち合わせをしてください。）			
相談先・依頼先	地域を所管する消防署（講師の依頼、資機材の借受、実施日の調整など）			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもがケガをしたときなどの救命救急を学びたい場合は、あらかじめその旨を相談することで、子ども型の人形で訓練することができます。 			

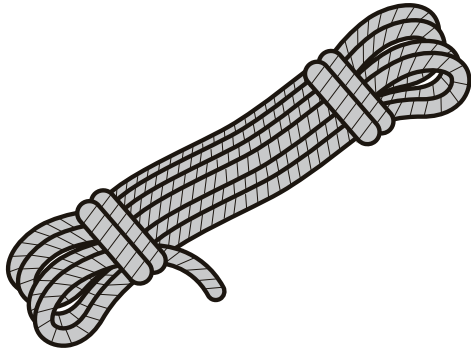
(4) 救出・救護班【訓練15】 応急手当訓練

	訓練の目的	応急手当の方法を習得します。		
		三角巾や身近なものを使った止血、骨折時の対応といった応急手当の方法を習得します。訓練の中で手当の方法を体験することができます。合わせて、ケガ人等を見つけたときの対処方法、注意事項などを学びます。		
	訓練種別	出前講座型	対象年齢	高校生以上
	開催場所	屋内	推奨人数	1グループ10人程度
	雨天対応	◎	所要時間	10分～30分
実施条件	消防署に依頼する場合は、複数の訓練と組み合わせてください。また、参加者20人以上を目安にしてください。			
費用の目安	ほぼ不要	特にありません		
主催団体が準備するもの(例)	特にありません（詳細は、訓練の依頼先と打ち合わせをしてください。）			
相談先・依頼先	地域を所管する消防署（講師の依頼、準備物の確認、実施日の調整など） 日本赤十字社岡山県支部（講師の依頼、準備物の確認、実施日の調整 など）			
その他				


(4) 救出・救護班【訓練16】 救出訓練

	訓練の目的	被災場所からの救出方法を習得します。		
		救出する人、される人などの役割を決めて、想定する状況（家具の下敷きになった等）で救出方法を体験します。救出する側、救出される側で、それぞれ日常で気をつけることなどを学ぶことができます。		
	訓練種別	出前講座型	対象年齢	高校生以上
	開催場所	屋外推奨	推奨人数	1グループ10人程度
	雨天対応	△	所要時間	30分～60分
実施条件	消防署に依頼する場合は、複数の訓練と組み合わせてください。また、参加者20人以上を目安にしてください。			
費用の目安	ほぼ不要	特にありません		
主催団体が準備するもの(例)	役割分担表 など			
相談先・依頼先	地域を所管する消防署（講師の依頼、準備物の確認、実施日の調整など）			
その他				

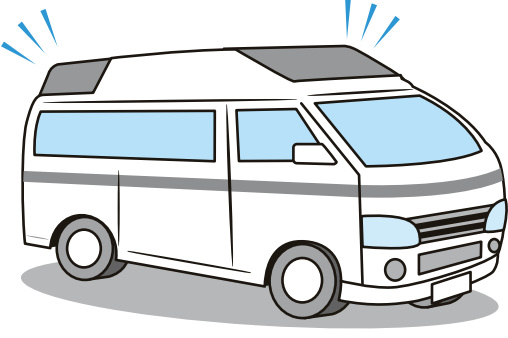
(4) 救出・救護班【訓練17】ロープ結び訓練

	訓練の目的	さまざまなロープの結び方を習得します。		
	ロープを使って、さまざまな結び方を学ぶことができます。ロープの結び方は、災害時だけでなく、日常生活の中でも役に立つ場面が多々あります。			
	訓練種別	出前講座型	対象年齢	小学生以上
	開催場所	どこでも可	推奨人数	1グループ10人程度
	雨天対応	△	所要時間	10分～20分
実施条件	消防署に依頼する場合は、複数の訓練と組み合わせてください。また、参加者20人以上を目安にしてください。			
費用の目安	ほぼ不要	特にありません		
主催団体が準備するもの(例)	特にありません(詳細は、訓練の依頼先と打ち合わせをしてください。)			
相談先・依頼先	地域を所管する消防署(講師の依頼、準備物の確認、実施日の調整など)			
その他				


(4) 救出・救護班【訓練18】水難救助訓練

	訓練の目的	水難時の対処方法を習得します。		
	プール等を利用して、着衣水泳、救助方法などを体験しながら水難時の対応を学びます。夏休みなど、水の事故が増える前に実施すると効果的です。自然災害との直接的な関連は浅い訓練ですが、洪水などでの関連性はあります。			
	訓練種別	出前講座型	対象年齢	小学生以上
	開催場所	屋外	推奨人数	特にありません
	雨天対応	△	所要時間	60分～120分
実施条件	消防署に依頼する場合は、複数の訓練と組み合わせてください。また、参加者20人以上を目安にしてください。			
費用の目安	ほぼ不要	特にありません		
主催団体が準備するもの(例)	特にありません(詳細は、訓練の依頼先と打ち合わせをしてください。)			
相談先・依頼先	地域を所管する消防署(講師の依頼、準備物の確認、実施日の調整など) 小学校・中学校(プール使用についての相談 など)			
その他	・屋外のプールの場合、雷が鳴っているときには、雨が降っていても実施できません。			


(4) 救出・救護班【訓練19】救急車展示

	訓練の目的	救急車について学びます。		
		救急車を展示します。		
	訓練種別	出前講座型	対象年齢	特にありません
	開催場所	屋外	推奨人数	特にありません
	雨天対応	○	所要時間	特にありません
実施条件	小学校区程度の区域を対象とした訓練であることが目安です。			
費用の目安	ほぼ不要	特にありません		
主催団体が準備するもの(例)	特にありません			
相談先・依頼先	地域を所管する消防署(実施日の調整 など)			
その他	・記念写真を撮ることなどもできます。			

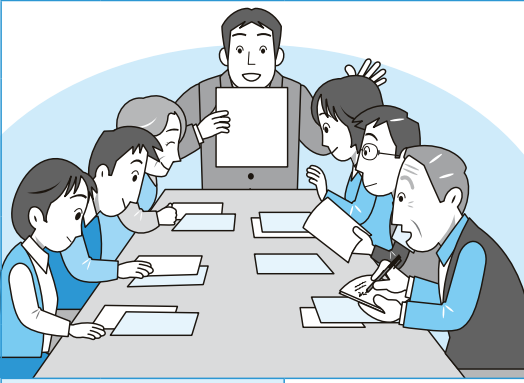
(5) 情報班【訓練20】広報連絡訓練

	訓練の目的	災害時の広報連絡の方法を習得します。		
		拡声器、広報車、地域内放送等を使って、避難の呼びかけなどの訓練を行います。実際に広報をしてみることで、どのくらい時間がかかるか、どのくらい人手がいるか、といったことを経験することができます。		
	訓練種別	自主実施型	対象年齢	成人
	開催場所	屋外	推奨人数	特にありません
	雨天対応	○	所要時間	30分～60分
実施条件	特にありません			
費用の目安	ほぼ不要	特にありません		
主催団体が準備するもの(例)	拡声器、広報用の車 など			
相談先・依頼先	特にありません			
その他	・広報のルートや、アナウンス原稿を考えるとといったことも効果的です。			


(5) 情報班【訓練21】連絡網活用訓練

	訓練の目的	地域の連絡網が機能しているかどうかを確認します。		
		連絡網を作っている場合に、その連絡網が機能するかどうかを確認します。電話だけで実施すれば、集まらなくてよいので比較的容易に実施することができます。		
	訓練種別	自主実施型	対象年齢	成人
	開催場所	屋内	推奨人数	特にありません
	雨天対応	◎	所要時間	10分～60分
実施条件	特にありません			
費用の目安	ほぼ不要	特にありません		
主催団体が準備するもの(例)	特にありません			
相談先・依頼先	特にありません			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめ連絡網を作成しておく必要があります。 ・地域での連絡網の作成は任意です。連絡網を作成する場合は、個人情報の取扱には十分にご注意ください。 			


(5) 情報班【訓練22】防災本部運営訓練

	訓練の目的	防災本部の運営ノウハウを蓄積します。		
		災害が発生したときの、地域での動きを確認します。発生日時、被害規模などを想定した上で、参集場所、指揮系統、各班の動き、情報収集などの具体的な行動をチェックします。ある程度実際に動いてみる、みんなで話し合いをするなど、いろいろな手法で実施することができます。		
	訓練種別	ワークショップ型	対象年齢	成人
	開催場所	屋内・屋外	推奨人数	特にありません
	雨天対応	○	所要時間	30分～120分
実施条件	特にありません			
費用の目安	10,000円未満	・話し合いで使う消耗品代 など		
主催団体が準備するもの(例)	被害想定、メモ用紙、防災マップ、筆記用具 など			
相談先・依頼先	危機管理室（講師の依頼、準備物の確認、実施日の調整 など） 南区役所総務・地域振興課（専門家派遣、実施日の調整 など）			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・主催者で企画して実施することもできますが、初めてのときは、講師等の支援があると、より効果的です。 			


(5) 情報班【訓練23】NTT災害伝言ダイヤル出前講座

	訓練の目的	NTTが提供している災害伝言ダイヤルを周知するとともに、使い方を習得します。		
	実際にデモ機を使って、災害時に利用できるNTT災害伝言ダイヤルの使い方を学ぶことができます。			
	訓練種別	出前講座型	対象年齢	小学生以上
	開催場所	屋内推奨	推奨人数	1グループ8人程度
	雨天対応	○	所要時間	10分～20分
実施条件	参加者30人以上を目安にしてください。			
費用の目安	ほぼ不要	特にありません		
主催団体が準備するもの(例)	会議机、イス、電源 など(詳細は、出前事業者と打ち合わせをしてください。)			
相談先・依頼先	危機管理室(講師の依頼、実施日の調整 など)			
その他	<ul style="list-style-type: none"> 市を通じて出前授業の依頼をする必要があります。 希望により、災害伝言ダイヤルの使い方が書かれたポケットマニュアルを配布していただくこともできます。 			


(5) 情報班【訓練24】NTT災害伝言ダイヤル試用訓練

	訓練の目的	NTTが提供している災害伝言ダイヤルを周知するとともに、使い方を習得します。		
	毎月1日と15日に試用することができますので、地域みなさんに試用を呼びかけます。			
	訓練種別	自主実施型	対象年齢	特にありません
	開催場所	屋内	推奨人数	特にありません
	雨天対応	◎	所要時間	10分～20分
実施条件	特にありません			
費用の目安	ほぼ不要	特にありません		
主催団体が準備するもの(例)	特にありません			
相談先・依頼先	(株)NTTフィールドテクノ(ポケットマニュアルの提供依頼)			
その他	<ul style="list-style-type: none"> 希望により、災害伝言ダイヤルの使い方が書かれたポケットマニュアルを配布していただくこともできます。 			


(5) 情報班【訓練25】被災状況把握訓練

	訓練の目的	災害時の地域の状況把握方法を習得します。		
		地域の被害状況をまとめるために、どのタイミングで、誰が、どのように地域の被害を調べ、どうまとめるのかといったことを話し合う、実際に動いてみるなどします。		
	訓練種別	ワークショップ型	対象年齢	成人
	開催場所	屋内・屋外	推奨人数	特にありません
	雨天対応	○	所要時間	60分～120分
実施条件	特にありません			
費用の目安	ほぼ不要	・話し合いに必要な消耗品代 など		
主催団体が準備するもの(例)	メモ用紙、防災マップ、筆記用具 など			
相談先・依頼先	危機管理室（講師の依頼、準備物の確認、実施日の調整 など） 南区役所総務・地域振興課（専門家派遣、実施日の調整 など）			
その他				


(5) 情報班【訓練26】災害時情報収集手段確認

	訓練の目的	災害時の情報収集手段を啓発します。		
		災害時に被害状況や現状などの情報を収集する手段をあらかじめ調べ、その内容をまとめ、地域の人に知っていただきます。		
	訓練種別	自主実施型	対象年齢	高校生以上
	開催場所	屋内	推奨人数	特にありません
	雨天対応	◎	所要時間	60分～120分
実施条件	特にありません			
費用の目安	10,000円未満	・話し合いに必要な消耗品代 ・まとめたものを配布する場合は印刷代 など		
主催団体が準備するもの(例)	メモ用紙、筆記用具 など			
相談先・依頼先	特にありません			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集の手段を調べた成果物は、地域の人に配布、防災マップに掲載、といった活用ができます。 ・岡山市からも、エリアメール、防災行政無線、緊急告知ラジオなどを使って情報提供しています。 ・おかやま防災情報メールへ登録すると、防災に関するいろいろな情報がメール送信されます。 			


(6) 給食・給水班【訓練27】配給訓練

	訓練の目的	避難所での配給方法を習得します。		
	避難所で食料を配る訓練で、炊き出し訓練などと合わせて実施します。配給場所や並ばせ方の検討、食料の配布方法などを体験を通じて学ぶことができます。			
	訓練種別	自主実施型	対象年齢	特にありません
	開催場所	屋内推奨	推奨人数	特にありません
雨天対応	○	所要時間	30分～60分	
実施条件	特にありません			
費用の目安	ほぼ不要	・整列してもらうための消耗品代 など		
主催団体が準備するもの(例)	案内表示、整列用ロープ など			
相談先・依頼先	特にありません			
その他	・実際に食料を配布する場合は、保健所に催し物開催届を提出する必要があります。			


(6) 給食・給水班【訓練28】炊き出し訓練（非常食あり）

	訓練の目的	炊き出しのノウハウを習得するとともに、備蓄用保存食の周知を図ります。		
	危機管理室が給付する、アルファ米やクラッカー等を活用し、実際に非常食の調理をすることで、調理法等のノウハウを学びます。			
	訓練種別	自主実施型	対象年齢	特にありません
	開催場所	屋内推奨	推奨人数	特にありません
雨天対応	○	所要時間	30分～120分	
実施条件	特にありません			
費用の目安	ほぼ不要	・残飯やごみの処分のための消耗品代 など		
主催団体が準備するもの(例)	ゴミ袋、コンロ、やかん、ラップ など			
相談先・依頼先	危機管理室（備蓄品の給付申請 など）			
その他	・市の備蓄品は、賞味期限間近の備蓄食料に余裕があるときに限り、申請により訓練用として給付しています。			


(6) 給食・給水班【訓練29】炊き出し訓練（非常食なし）

	訓練の目的	炊き出しのノウハウを習得します。		
	訓練への参加人数を想定した量の1食分の食料を作ります。			
	訓練種別	自主実施型	対象年齢	特にありません
	開催場所	屋内推奨	推奨人数	特にありません
雨天対応	○	所要時間	90分～	
実施条件	特にありません			
費用の目安	30,000円以上	・食材代（メニューや参加人数によって、費用は変わります） ・食器などの消耗品代		
主催団体が準備するもの（例）	食料、食器、ごみ袋、コンロ、やかん、ラップ、箸やスプーン、コップ、皿 など			
相談先・依頼先	特にありません			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・食料を取り扱う場合は、保健所に催し物開催届を提出する必要があります。 ・メニューは、おにぎり、カレー、豚汁、もちなど、ある程度の量をまとめて作るのが簡単なものがよいでしょう。 ・用意する食材の量、金額、機材など、実際に炊き出しをする場合のノウハウを得ることができます。 ・災害時に使えるエネルギー源（LPガス、カセットコンロなど）を使うと、より実際に近い訓練になります。 			


(6) 給食・給水班【訓練30】応急給水訓練

	訓練の目的	応急給水栓の使い方を習得します。		
	給水車や、小学校に設置されている応急給水栓のサンプルを使用して、応急給水の方法を学びます。応急給水栓の収納場所の確認や、サンプル機材を使って設置や使用の体験を行います。			
	訓練種別	出前講座型	対象年齢	特にありません。
	開催場所	屋外	推奨人数	1グループ8人程度
雨天対応	○	所要時間	10分～20分	
実施条件	小学校区程度の区域を対象とした訓練であることが目安です。			
費用の目安	ほぼ不要	特にありません		
主催団体が準備するもの（例）	特にありません（詳細は、水道局と打ち合わせをしてください。）			
相談先・依頼先	水道局企画総務課（講師の依頼、準備物の確認、実施日の調整 など）			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に学校に設置されている応急給水栓は、消毒済のため使用しません。 			


(6) 給食・給水班【訓練31】給水車展示

	訓練の目的	災害などで水道が使えなくなったときの水道局の備えについて学びます。		
	給水車を展示します。写真撮影などもしていただけます。			
	訓練種別	出前講座型	対象年齢	特にありません。
	開催場所	屋外	推奨人数	特にありません。
	雨天対応	○	所要時間	特にありません
実施条件	小学校区程度の区域を対象とした訓練であることが目安です。			
費用の目安	ほぼ不要	特にありません		
主催団体が準備するもの(例)	特にありません(詳細は、水道局と打ち合わせをしてください。)			
相談先・依頼先	水道局企画総務課(給水車の依頼、展示場所の確認、実施日の調整など)			
その他	・記念写真を撮ることなどもできます。			


(7) 避難所運営【訓練32】避難所受付訓練

	訓練の目的	避難所を開設したときの避難者の受付方法を習得します。		
	避難してくる人と、受付をする人の役割を決め、実際に受付作業をすることで、避難所を開設するときの受付作業を体験し、ノウハウを学びます。			
	訓練種別	自主実施型	対象年齢	特にありません
	開催場所	屋内・屋外	推奨人数	特にありません。
	雨天対応	○	所要時間	60分~120分
実施条件	特にありません			
費用の目安	ほぼ不要	特にありません		
主催団体が準備するもの(例)	避難者カード、机、イス、筆記用具 など			
相談先・依頼先	危機管理室(講師の依頼、準備物の確認、実施日の調整 など) 南区役所総務・地域振興課(専門家派遣、実施日の調整 など)			
その他	・あらかじめ地域の中での役割分担を決めておく必要があります。			

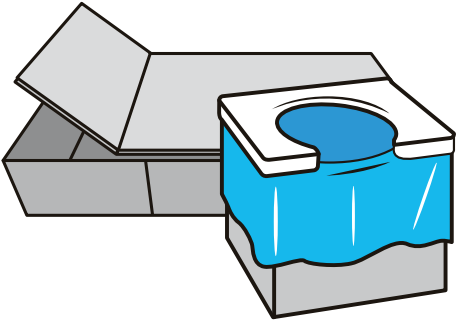
(7) 避難所運営【訓練33】避難所運営ゲーム (HUG)

	訓練の目的	避難者の受け入れや、運営方法を習得します。		
	避難所運営ゲーム (HUG) は、静岡県が開発した、避難所の運営を体験できるカードゲームです。プレイヤーが避難所の運営者となり、カードをめくって出てくるさまざまな課題の解決方法を考えます。避難所を運営する側の人が運営をイメージできるだけでなく、避難所の運営側ではない人も、運営側として考える立場を体験することで、運営側の苦労を知ってもらうことができます。			
	訓練種別	ワークショップ型	対象年齢	高校生以上
	開催場所	屋内	推奨人数	1グループ6人程度
	雨天対応	◎	所要時間	60分～120分
実施条件	参加者10人以上を目安にしてください。			
費用の目安	10,000円未満	<ul style="list-style-type: none"> ・地図や筆記用具などの消耗品代 ・専門的な講師を呼ぶ場合は、別途講師料 など 		
主催団体が準備するもの(例)	HUGセット、避難所の全体図、筆記用具、メモ用紙、机、イス など			
相談先・依頼先	危機管理室 (HUGセットの貸し出し、講師の依頼、準備物の確認、実施日の調整 など) 南区役所総務・地域振興課 (HUGセットの貸し出し、専門家派遣、実施日の調整 など)			
その他	・HUGセットは市が貸し出しをしています。			

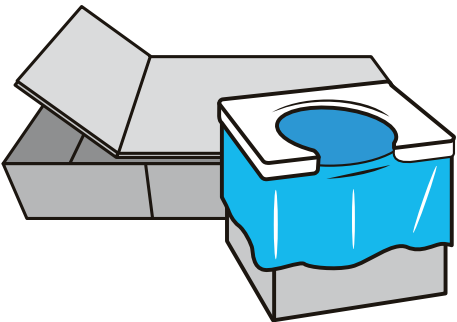
(7) 避難所運営【訓練34】避難所イメージトレーニング (HIT)

	訓練の目的	避難者の受け入れや、運営方法を習得します。		
	避難所イメージトレーニング (HIT) は、避難所として活用する施設をどのように使うのか、避難所ではどのような課題が発生するのか、その課題をどう解決するのか、といったことを学ぶことができます。			
	訓練種別	ワークショップ型	対象年齢	高校生以上
	開催場所	屋内	推奨人数	1グループ10人程度
	雨天対応	◎	所要時間	60分～120分
実施条件	参加者10人以上を目安にしてください。			
費用の目安	10,000円未満	<ul style="list-style-type: none"> ・地図や筆記用具などの消耗品代 ・専門的な講師を呼ぶ場合は、別途講師料 など 		
主催団体が準備するもの(例)	避難所の全体図、筆記用具、メモ用紙、机、イス など			
相談先・依頼先	危機管理室 (講師の依頼、準備物の確認、実施日の調整 など) 南区役所総務・地域振興課 (専門家派遣、実施日の調整 など)			
その他				


(7) 避難所運営【訓練35】簡易トイレ組み立て訓練

	訓練の目的	被災をした場合のトイレ事情について学びます。		
	段ボールなどの身近なものを使ってトイレを作ります。また、被災した場合のトイレ事情なども合わせて学ぶことができます。			
	訓練種別	ワークショップ型	対象年齢	中学生以上
	開催場所	屋内	推奨人数	1グループ10人程度
	雨天対応	◎	所要時間	20分～60分
実施条件	参加者10人以上を目安にしてください。			
費用の目安	10,000円未満	<ul style="list-style-type: none"> ・段ボールトイレの材料、組み立て用品などの消耗品代 ・専門的な講師を呼ぶ場合は、別途講師料 など 		
主催団体が準備するもの(例)	段ボール、ハサミ・カッター、ガムテープ、ものさし など			
相談先・依頼先	危機管理室（講師の依頼、準備物の確認、実施日の調整 など）南区役所総務・地域振興課（専門家派遣、実施日の調整 など）公民館（実施する内容、講師の選定の相談 など）			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・材料にする段ボールを持ち寄る場合は経費を節減できますが、加工に時間がかかる場合があります。 ・ハサミやカッターなどを使いますので、安全面にご留意ください。 ・簡易トイレは市が貸し出しをしています。 			


(7) 避難所運営【訓練36】簡易ベッド組み立て訓練

	訓練の目的	簡易ベッドの組み立て方法を習得します。		
	段ボールなどの身近なものを使ってベッドを作ります。			
	訓練種別	ワークショップ型	対象年齢	中学生以上
	開催場所	屋内	推奨人数	1グループ10人程度
	雨天対応	◎	所要時間	20分～60分
実施条件	参加者10人以上を目安にしてください。			
費用の目安	ほぼ不要	<ul style="list-style-type: none"> ・段ボールベッドセットを購入する場合は、別途備品代 ・専門的な講師を呼ぶ場合は、別途講師料 など 		
主催団体が準備するもの(例)	特にありませんが、詳細は、訓練の依頼先と打ち合わせをしてください。			
相談先・依頼先	危機管理室（講師の依頼、準備物の確認、実施日の調整 など）南区役所総務・地域振興課（専門家派遣、実施日の調整 など）公民館（実施する内容、講師の選定の相談 など）			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易ベッドは市が貸し出しをしています。 			


(7) 避難所運営【訓練37】避難所設営訓練

	訓練の目的	避難所の開設方法を習得します。		
		市が避難準備情報等を発表する場合は、基本的には市職員が避難所を開設しますが、地域の判断で自主的に開設したり、市が開設する時間がなかったりした場合を想定し、地域で避難所を開設する手順を体験します。市が指定している避難所の避難所開設セットの保管場所なども合わせて確認します。		
	訓練種別	ワークショップ型	対象年齢	成人
	開催場所	屋内	推奨人数	1グループ10人程度
	雨天対応	◎	所要時間	10分～30分
実施条件	参加者10人以上を目安にしてください。			
費用の目安	ほぼ不要	・話し合いをする場合の消耗品代 など		
主催団体が準備するもの(例)	筆記用具、メモ用紙			
相談先・依頼先	危機管理室（講師の依頼、準備物の確認、実施日の調整 など）南区役所総務・地域振興課（専門家派遣、実施日の調整 など）公民館（実施する内容、講師の選定の相談 など）			
その他				


(8) その他【訓練38】防災講話

	訓練の目的	防災、減災のための日ごろの備えについて学びます。		
		本市で策定している地域防災計画に基づく、本市の防災対策、市民の役割など、防災に関する講話です。		
	訓練種別	出前講座型	対象年齢	小学生以上
	開催場所	屋内	推奨人数	40名以上
	雨天対応	◎	所要時間	30分～90分
実施条件	参加者40人以上を目安にしてください。			
費用の目安	ほぼ不要	特にありません		
主催団体が準備するもの(例)	・音響設備、電源 など			
相談先・依頼先	危機管理室（講師の依頼、準備物の確認、実施日の調整 など）南区役所総務・地域振興課（専門家派遣、実施日の調整 など）公民館（講話のテーマ、講師の選定の相談 など）			
その他	・時間や内容は適宜調整できます。希望のテーマ、対象年齢などを踏まえてご相談ください。			


(8) その他【訓練39】栄養指導

	訓練の目的	生活環境の悪い避難所での栄養面で気をつけることについて学びます。		
	避難生活が長くなったときのことを想定した栄養指導の講話です。避難所では、物資が限られていることもあり、バランスの良い食事を摂ることは難しいことが多いので、あらかじめ気をつけることなどの講話です。			
	訓練種別	出前講座型	対象年齢	成人
	開催場所	屋内	推奨人数	40名以上
	雨天対応	◎	所要時間	10分～30分
実施条件	参加者40人以上を目安にしてください。			
費用の目安	ほぼ不要	特にありません		
主催団体が準備するもの(例)	音響設備、電源など			
相談先・依頼先	保健センター（講師の依頼、実施日の調整 など）			
その他	・時間や内容は適宜調整できます。希望のテーマ、対象年齢などを踏まえてご相談ください。			

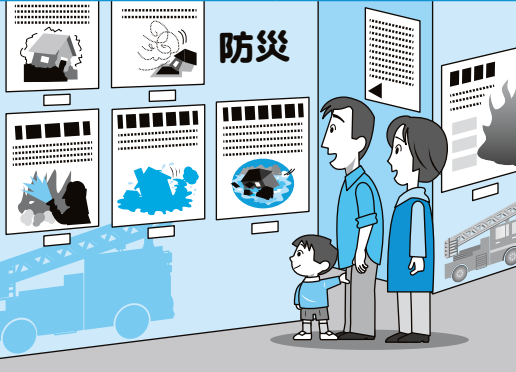
(8) その他【訓練40】衛生指導

	訓練の目的	生活環境の悪い避難所での衛生面で気をつけることについて学びます。		
	避難所の衛生を保つための講話です。食中毒や感染症などを予防するための具体的な方法や、発生したときの対処法などを学びます。この内容は、避難所での生活に限らず、日常の生活でも役に立ちます。			
	訓練種別	出前講座型	対象年齢	成人
	開催場所	屋内	推奨人数	40名以上
	雨天対応	◎	所要時間	10分～30分
実施条件	参加者40人以上を目安にしてください。			
費用の目安	ほぼ不要	特にありません		
主催団体が準備するもの(例)	音響設備、電源など			
相談先・依頼先	保健所衛生課（講師の依頼、実施日の調整 など）			
その他	・時間や内容は適宜調整できます。希望のテーマ、対象年齢などを踏まえてご相談ください。			


(8) その他【訓練41】健康指導

	訓練の目的	生活環境の悪い避難所での健康面で気をつけることについて学びます。		
	避難所での生活における、健康を保つための講話です。避難所での生活は、精神的にも、肉体的にも大きなストレスがかかりますので、避難所で心掛けることや、日常から備えておくべきことなどの講話です。			
	訓練種別	出前講座型	対象年齢	成人
	開催場所	屋内	推奨人数	40名以上
	雨天対応	◎	所要時間	10分～30分
実施条件	参加者40人以上を目安にしてください。			
費用の目安	ほぼ不要	特にありません		
主催団体が準備するもの(例)	音響設備、電源など			
相談先・依頼先	保健センター（講師の依頼、実施日の調整 など） 健康づくり課（講師の依頼、実施日の調整 など）			
その他	・時間や内容は適宜調整できます。希望のテーマ、対象年齢などを踏まえてご相談ください。			

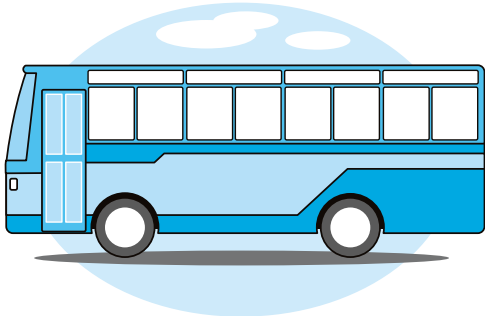
(8) その他【訓練42】研究発表

	訓練の目的	防災・減災の啓発		
	あらかじめ、防災に関する調査や研究をした上で、その成果を発表します。小・中・高等学校等の学生が授業で学んだこと、自主防災会や任意のグループが独自に調べた内容を発表するなどします。身近な人が話をするすることで、防災・減災について、より身近に感じていただける効果も期待できます。			
	訓練種別	自主実施型	対象年齢	小学生以上
	開催場所	屋内	推奨人数	40名以上
	雨天対応	◎	所要時間	10分～30分
実施条件	特にありません			
費用の目安	ほぼ不要	・研究発表グループの調査を支援する場合は調査に必要な消耗品代 など		
主催団体が準備するもの(例)	音響設備、電源など			
相談先・依頼先	危機管理室（発表事例の情報提供、企画の相談 など） 南区役所総務・地域振興課（発表事例の情報提供、企画の相談 など）			
その他	・学校や任意団体などに研究発表を依頼する、逆に、学校や任意団体の活動成果の発表の場にするなど、地域の実情に応じて構成を考えると良いでしょう。			


(8) その他【訓練43】クロスロードゲーム

	訓練の目的	防災・減災の啓発		
	クロスロードゲームは、阪神淡路大震災をきっかけに神戸市が開発した、カードゲームです。「クロスロード」は、「交差点」や「岐路」と言った意味で、このゲームでは、災害時にしなければならない難しい判断を体験することができます。このゲームを通じて、いろいろな価値観や考え方の人がいることを知ることができます。			
	訓練種別	ワークショップ型	対象年齢	高校生以上
	開催場所	屋内	推奨人数	10名以上
	雨天対応	◎	所要時間	30分～60分
実施条件	特にありません			
費用の目安	ほぼ不要	・意見交換用の筆記用具などの消耗品代 など		
主催団体が準備するもの(例)	クロスロードセット、筆記用具 など			
相談先・依頼先	危機管理室（クロスロードセットの貸し出し、講師の依頼、準備物の確認、実施日の調整 など）南区役所総務・地域振興課（専門家派遣、実施日の調整 など）			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・クロスロードセットは市が貸し出しをしています。 ・クロスロードゲームを中心にするのではなく、講演の中などに組み込んで、ちょっとだけ体験することもできます。 			


(8) その他【訓練44】研修旅行

	訓練の目的	防災・減災の啓発		
	防災・減災の研修が目的の旅行です。防災啓発施設や被災地などを訪問し、防災・減災について学ぶことができます。巻末の資料に、近隣の防災を学べる施設の一覧をまとめているので、参考にしてください。			
	訓練種別	自主実施型	対象年齢	特にありません
	開催場所	屋外	推奨人数	特にありません
	雨天対応	○	所要時間	半日～終日
実施条件	特にありません			
費用の目安	200,000円程度	・旅行代金 など		
主催団体が準備するもの(例)	旅行の手配			
相談先・依頼先	旅行会社			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・親睦旅行等の経路地の1つに、防災関連施設を入れるなどしても良いでしょう。 			

(8) その他【訓練45】市主催の防災関連行事

	訓練の目的	防災・減災の啓発		
	市が主催するさまざまな防災関連の行事に参加します。大規模な防災訓練、啓発イベント、防災に関する交流行事などがあります。開催の都度、広報紙「市民のひろば」などで告知しておりますので、ぜひ、ご活用ください。			
	訓練種別		対象年齢	特にありません
	開催場所	任意	推奨人数	特にありません
	雨天対応	○	所要時間	半日～終日
実施条件	特にありません			
費用の目安	ほぼ不要	ほぼ不要		
主催団体が準備するもの(例)	特にありません			
相談先・依頼先	危機管理室(総合防災訓練についてのお問い合わせ など) 南区役所総務・地域振興課(区別防災訓練についてのお問い合わせ など) 消防企画総務課(消防出初式についてのお問い合わせ) 事業実施担当課(その他の防災関連事業についてのお問い合わせ など)			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に参加申込みが必要な場合があります。 ・本市では、9月の第1日曜日ごろに総合防災訓練を実施しています。事前に広報紙などでも告知しますので、ぜひお越しください。 ・1月の第2日曜日ごろには、消防出初め式を行っています。 			

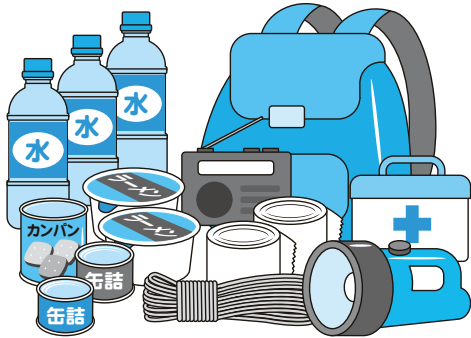
(8) その他【訓練46】土のう作り訓練

	訓練の目的	土のうの作り方を習得します		
	実際に土のうを作ったり、土のうを積んだりして、土のうの作り方、使い方を学びます。			
	訓練種別	出前講座型	対象年齢	中学生以上
	開催場所	屋外	推奨人数	1グループ10人程度
	雨天対応	△	所要時間	10分～20分
実施条件	参加者10人以上を目安にしてください。			
費用の目安	ほぼ不要	ほぼ不要		
主催団体が準備するもの(例)	真砂土・スコップ・土のう袋 など			
相談先・依頼先	対象地域を所管する消防署			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・南区役所総務・地域振興課への申請により、町内の備蓄土置場に災害用の備蓄土を給付することができます。 			

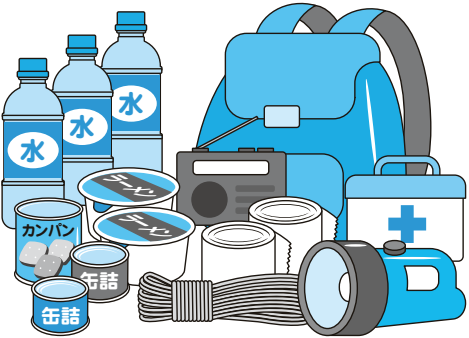
(8) その他【訓練47】地震体験車

	訓練の目的	大きな地震の揺れを体験することで、日ごろの備えや、地震時の対応方法を啓発します。		
		震度7の揺れを体験することができます。1度に4人まで一緒に体験することができます。ご自身が体験中に、あるいは、他の方が体験している様子を見ながら、職員の解説を聞くことで、理解を深めることができます。		
	訓練種別	出前講座型	対象年齢	小学生以上
	開催場所	屋外	推奨人数	1グループ16人程度
	雨天対応	×	所要時間	10分～20分
実施条件	参加者40人以上を目安にしてください。			
費用の目安	ほぼ不要	ほぼ不要		
主催団体が準備するもの(例)	特にありません			
相談先・依頼先	対象地域を所管する消防署			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・人がたくさん集まる行事の場合、待ち時間が長くなる場合があります。 ・人気のメニューなので、できるだけ早く日程調整をしてください。 			


(8) その他【訓練48】家庭用備蓄品点検訓練

	訓練の目的	家庭で備えておくべき備蓄品について学びます。		
		家庭の備蓄品を書き出して机上で点検したり、カードなどを使って買い物ゲームをしたりして、家庭内備蓄の啓発や点検をします。		
	訓練種別	ワークショップ型	対象年齢	小学生以上
	開催場所	屋内	推奨人数	特にありません
	雨天対応	◎	所要時間	20分～60分
実施条件	参加者10人以上を目安にしてください			
費用の目安	10,000円未満	・カード作成用の消耗品代 など		
主催団体が準備するもの(例)	推奨される備蓄品リスト、カード、筆記用具など			
相談先・依頼先	危機管理室（講師の依頼、事例の情報提供、企画の相談 など） 南区役所総務・地域振興課（専門家派遣、事例の情報提供、企画の相談 など）			
その他				

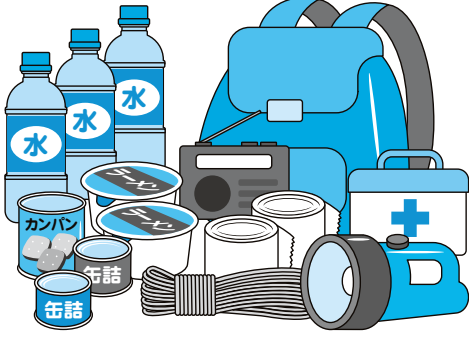
(8) その他【訓練49】非常持出袋点検訓練

	訓練の目的	家庭で備えておくべき非常持ち出し品について学びます。		
	実際に非常持出袋を持参したり、カードなどを使ってゲームをしたりして、非常持出袋の内容物の啓発や点検をします。			
	訓練種別	ワークショップ型	対象年齢	中学生以上
	開催場所	屋内	推奨人数	特にありません
雨天対応	◎	所要時間	20分～60分	
実施条件	参加者10人以上を目安にしてください。			
費用の目安	10,000円未満	・カード作成用の消耗品代 など		
主催団体が準備するもの(例)	推奨される非常持ち出し品リスト、カード、筆記用具など			
相談先・依頼先	危機管理室（講師の依頼、事例の情報提供、企画の相談 など） 南区役所総務・地域振興課（専門家派遣、事例の情報提供、企画の相談 など）			
その他				


(8) その他【訓練50】家庭内非常時事前協議

	訓練の目的	各家庭で被災時にどう対応するのかを学びます。		
	さまざまな災害発生日時を想定して、逃げる場所、落ち合う場所、連絡方法などをあらかじめ各家庭で話をしてもらいます。家庭内で話をするようにチラシ等で啓発する方法や、訓練などで集まる機会に家族で話し合う機会を作る方法などがあります。			
	訓練種別	ワークショップ型	対象年齢	小学生以上
	開催場所	屋内	推奨人数	特にありません
雨天対応	◎	所要時間	20分～60分	
実施条件	特にありません			
費用の目安	10,000円未満	・話し合いに必要な消耗品代 など		
主催団体が準備するもの(例)	メモ用紙、筆記用具 など			
相談先・依頼先	危機管理室（講師の依頼、事例の情報提供、企画の相談 など） 南区役所総務・地域振興課（専門家派遣、事例の情報提供、企画の相談 など）			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・最低限話し合っ欲しい項目を書いた用紙などをメモ用紙代わりに用意するのも効果的です。 ・発災日時の想定を予め用意して、「このときどうする？」と問いかけるなどしてもよいでしょう。 			

(8) その他【訓練51】防災グッズ展示

	訓練の目的	防災グッズについて学びます。		
	具体的な防災グッズを展示して、購入を促します。水や食料だけでなく、非常時に役立つ防災グッズなどの展示もできます。また、各団体が持っている備蓄品や災害時用の備品を展示して、地域の準備状況をPRしたり、点検したりする機会にすることもできます。			
	訓練種別	自主実施型	対象年齢	特にありません
	開催場所	屋内	推奨人数	特にありません
	雨天対応	◎	所要時間	—
実施条件	特にありません。			
費用の目安	ほぼ不要	展示するために新たに何かを購入する場合は、消耗品 など		
主催団体が準備するもの(例)	展示用の机、備蓄品、災害時備品 など			
相談先・依頼先	危機管理室（非常持ち出し袋の貸与依頼、企画の相談 など） 南区役所総務・地域振興課（防災グッズの貸与依頼、企画の相談 など）			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・防災グッズはホームセンター等で購入できます。 ・貸与品を使うほか、インターネットで検索したり、知り合いの紹介などで見つけた企業等に展示の協力を依頼するなどしてもよいでしょう。 ・地域の中で、きちんと備えているご家庭の防災グッズをお借りして紹介してもよいでしょう。 			

(8) その他【訓練52】防災クイズ

	訓練の目的	防災・減災の対策の啓発をします。		
	防災に関するクイズで、防災に関する知識を学べます。特に決まった形式はなく、研究発表の1つの形態、クイズ合戦など、主催者の工夫でいろいろなスタイルで実施することができます。			
	訓練種別	自主実施型	対象年齢	特にありません
	開催場所	屋内	推奨人数	特にありません
	雨天対応	◎	所要時間	10分～30分
実施条件	特にありません。			
費用の目安	10,000円未満	クイズで使う消耗品代 など		
主催団体が準備するもの(例)	クイズ用のパネル、筆記用具、景品 など			
相談先・依頼先	危機管理室（講師の依頼、事例の情報提供、企画の相談 など） 南区役所総務・地域振興課（専門家派遣、事例の情報提供、企画の相談 など）			
その他				

第4章

防災訓練 サンプルプラン

この章では、第3章の訓練メニューをいくつか組み合わせた防災訓練プランを紹介します。このプランを参考に、地域の防災への関心度、参加者の人数や年齢層、自主防災会等の地域の状況を考慮しながら、再構成してみてください。

防災コラム4 あなたにとっての最大のリスクは…？

地震や局地的なゲリラ豪雨による被害はいつ発生するかわかりません。また、台風による大雨、洪水、土砂災害でも、ある程度は発生する時期の想定はできますが、発生時刻の予測まではできません。

基本的には、災害には突然遭うものなので、その瞬間はとても動揺します。そんなときに行動の目的を区切って一つずつ確実に行動することは、冷静さを取り戻すことに役立ちます。家族と一緒にいるとき、別々にいるときの2パターンくらいで、やるべき行動の順番をそれぞれ三つくらい考えておくことをオススメします。

しかし、このときに忘れがちなのは「自分自身の身を守る」ことです。災害発生の瞬間に自分自身の身を守る行動をとれるかどうか、その後の行動を大きく左右します。

「家族を守る！」というような気持ちが強い人ほど、自分自身のことは後回しに考えがちです。もしかすると、それがあなたの最大のリスクかもしれません。「『家族を守る自分』を守る」こともきちんと考えてみませんか？



01 じっくりコツコツやるんだプラン

自主防災会を、「結成して初めて行う。」「最近やってないけど久々にやることになった。」「手間はかけられないけど続けたい。」といったときに適したプランです。

こういった訓練を続けることによって、「そろそろ違うことしない?」といった雰囲気になれば、「好循環が生まれる充実プラン」にステップアップするよい時機かもしれません。

(1) 実施する訓練

訓練	所要時間	訓練紹介ページ
① 避難訓練	20分	12ページ
② 地震体験（車）	20分	32ページ
③ 模擬消火器訓練	20分	10ページ
④ 応急手当訓練	20分	16ページ
⑤ ロープ結び訓練	20分	17ページ
⑥ 配給訓練	20分	22ページ

(2) 実施場所

訓練	実施場所
① 避難訓練	屋外
② 地震体験（車）	屋外
③ 模擬消火器訓練	屋外
④ 応急手当訓練	屋外・屋内
⑤ ロープ結び訓練	屋外・屋内
⑥ 配給訓練	屋外・屋内

屋外…学校の運動場、地域の公園等

屋内…公民館、コミュニティハウス、集会所等

(3) 事前準備

訓練	所要時間
① 避難訓練	訓練の案内に、訓練会場まで歩いて来ることを「避難訓練」として明記する。
② 地震体験（車） ③ 模擬消火器訓練 ④ 応急手当訓練 ⑤ ロープ結び訓練	所管の消防署に相談して日程や内容を調整する。また、訓練冒頭に消防署の職員に訓練に関連するよう話をしてほしい場合は、その旨も伝える。1つの訓練を10人程度のグループで行うため、あらかじめ参加者を4つの班に分けておく。
⑥ 配給訓練	危機管理室に、必要な備蓄食糧を給付してもらう「岡山市備蓄食糧等給付申請書」を提出する。後日、危機管理室から備蓄食糧の用意ができた旨の連絡があるので、備蓄食糧を受け取りに行く。

(4) 訓練当日

- 参加者が集合したら、訓練の趣旨や4班に分かれて4つの訓練をそれぞれ順番に実施することなど、当日の流れを説明する。
- 参加者の訓練の様子を撮影する。合わせて、参加者が訓練を通して感じた課題等の声も記録する。

(5) 訓練後

危機管理室に「岡山市備蓄食糧等給付実績報告書」を提出する。
なお、訓練当日の写真を添付する。

(6) その他

屋内で実施する場合は、防災関連の講話や救命救急訓練を追加したり、他の訓練と入れ替えたりしても、大して手間は増えない。

02 好循環が生まれる充実プラン

「防災訓練がマンネリ化してきた。」「何か違ったことをやってみたい。」「みんなで防災について考えたい。」といったときに適したプランです。

こうした訓練を続けることによって、「災害時には、具体的にどうする？」といった疑問が出てくれば、「他団体もびっくり興味津々プラン」にステップアップするよい時機かもしれません。

(1) 実施する訓練

訓練	所要時間	訓練紹介ページ
① 避難訓練・非常持出袋点検訓練	30分	12・33ページ
② 防災講話（家庭内備蓄のススメ）	30分	27ページ
③ 防災マップづくり	120分	12ページ
④ 防災グッズ展示	—	34ページ
⑤ 配給訓練	20分	22ページ

(2) 実施場所

- ①②④⑤は、全て屋内での実施。屋内での作業があるため、公民館、コミュニティハウス、集会所等の会議室で行う。
- 本格的な③防災マップづくりでは、実際に地域を歩いて調査する。

(3) 事前準備

訓練	事前に準備すること
① 避難訓練・非常持出袋点検訓練	訓練の案内に、訓練会場まで歩いて行くことを「避難訓練」として明記するとともに、その際に非常持出袋を持参していただく。非常持出袋を準備していない人は、非常持出袋に入れるものを想定したメモ等を持参していただく。

② 防災講話 (家庭内備蓄のススメ)	非常持出袋、家庭での備蓄、防災グッズなど、家庭でできる備えについての重点的な講話をしていただくよう、講師に伝える。
③ 防災マップづくり	自主防災会の区域をある程度くまなく歩けるよう、参加人数に応じていくつかのブロックに分けておく。また、どのような視点で区域を歩くのかについてのチェック項目リストを作り、バインダー、地図、ペン、模造紙、付せん紙、カメラ、お茶等の必要な消耗品を用意する。
④ 防災グッズ展示	南区役所総務・地域振興課に、展示する防災グッズを借りる「防災グッズ貸出申込書」を提出する。そのほか、実際に町内の方が用意しているものや、防災グッズの取扱業者等で借用できるものがあれば、協力を依頼する。
⑤ 配給訓練	危機管理室に、必要な備蓄食糧を給付してもらう「岡山市備蓄食糧等給付申請書」を提出する。後日、危機管理室から備蓄食糧の用意ができた旨の連絡があるので、備蓄食糧を受け取りに行く。

(4) 訓練当日

- 参加者が集合したら、当日の流れを説明する。進行は講師に任せる。
- 参加者の訓練の様子を撮影する。合わせて、参加者が訓練を通して感じた課題等の声も記録する。

(5) 訓練後

- 危機管理室に「岡山市備蓄食糧等給付実績報告書」を提出する。
なお、訓練当日の写真を添付する。
- 南区役所総務・地域振興課に、借りていた防災グッズを返す。

(6) その他

屋内で実施する場合は、防災関連の講話や救命救急訓練を追加したり、他の訓練と入れ替えたりしても良い。

03 他団体もびっくり興味津々プラン

「実際に災害が起こったら地域としてどうするか。」といった疑問を感じるようになったときに適したプランです。このプランの実施を検討できる自主防災会は、ぜひ他の自主防災会の訓練の支援等地域のためにできる防災活動についても、ぜひ考えてみてください。

(1) 実施する訓練

訓練	所要時間	訓練紹介ページ
① 避難訓練	30分	12ページ
② 避難所受付訓練	60分	24ページ
③ 避難所運営ゲーム (HUG)	120分	25ページ
④ 炊き出し訓練	120分	22・23ページ
⑤ 避難所運営訓練	1泊	—

(2) 実施場所

実際にその地域の避難所となる小学校の体育館等を中心に行う。

(3) 事前準備

訓練	事前に準備すること
① 避難訓練	訓練の案内に、訓練会場まで歩いて行くことを「避難訓練」として明記するとともに、その際に非常用持出袋に見立てた、1泊グッズを持参するよう伝える。
② 避難所受付訓練	机、イス、筆記用具、受付で使用する紙、受付後の待合スペース等。避難所を運営する人の役割分担、避難所運営のシナリオ等もあらかじめ相談して決めておく。

③ 避難所運営ゲーム (HUG)	危機管理室や区役所で必要数のHUGセットを貸与してもらう。ゲームをするグループごとに進行役が必要なため、進行役はあらかじめ進行のやり方を学んでおく。その避難所の平面図を用意しておく、より具体的な訓練を実施することができる。
④ 炊き出し訓練	どのライフラインが使えないかの想定によって、メニュー、材料、調理器具等、炊き出しの内容が変わるため、どういう想定にするかを検討する。また、備蓄品を活用する場合は、危機管理室に必要な備蓄食糧を給付してもらう「岡山市備蓄食糧等給付申請書」を提出する。
⑤ 避難所運営訓練	避難所スペース、トイレ等の設営に必要な段ボール等の資材を準備する。また、あらかじめ避難所スペースをどのように区切るのかといったことを話し合っておく。

(4) 訓練当日

- 参加者が集合したら、当日の流れを説明する。
- 参加者の訓練の様子を撮影する。合わせて、参加者が訓練を通して感じた課題等の声も記録する。

(5) 訓練後

- 危機管理室に「岡山市備蓄食糧等給付実績報告書」を提出する。
なお、訓練当日の写真を添付する。
- 反省会を開いて次回に生かせることをまとめ、次回の参考とする。

(6) その他

炊き出し班のみ炊き出し訓練を実施し、それ以外の方は、他の訓練メニューを実施するという方法も良い。班分けをして、地震体験、救命救急訓練、応急手当訓練、ミニ講演会、水くみ訓練等を実施するのも良い。

実際にどんな訓練をしているの？

Vol.1

これまでいろいろと学んできたけど、実際にどのような訓練が行われている？

じゃあ、一緒に見に行ってみよう。



中学生が事前学習し、防災訓練当日に発表する様子じゃ。この地域では、中学生ボランティアが簡易ダンボールトイレやベッドづくりを実演しているんじゃ。※簡易トイレ・ベッド組み立て訓練は26ページを参照。



防災の専門家が講演する様子じゃ。寒い冬場に毛布を使ってガウンを作ったり、三角巾を使ってスリッパを作るやり方を教えてくれるんじゃ。日常的に使っているモノを工夫することが大切じゃろ。



ふーん。勉強になるね。次へ行ってみよう。



第5章

訓練等で 注意すること

この章では、自主防災会が訓練等を実施するときに気をつけた方がよいことをまとめています。自主防災会や訓練等の運営をするときの参考にしてください。

防災コラム⑤ 防災は自己責任??

大きな災害が発生すると、行政の過失を問う損害賠償請求の訴えが起こされることがあります。こういった裁判の中で争われる行政の過失は、被災された方の「もし、～だったら、もっと被害を少なくできたのに…」という心情の表れだと思います。

ここで争われる過失をどう考え、どう備えるか、行政にとって大きな課題です。しかし、仮に裁判で行政の過失が認められ、損害賠償がなされるとしたら、それで良いのでしょうか？

いくらお金を貰っても、失われた命や後遺症の残るような大きなケガは元には戻りません。家財等の経済的な損害は賠償されても、失われた写真や記念品等の思い出の品々は戻りません。

「防災は自己責任」というと、行政が責任を放棄しているようにも受け取れます。しかし、現実には被災したときの辛さや悔いは、本人が受け止めるしかありません。

「個人の備えの恩恵を最も受けることができるのは、その個人である」と言われるように、日ごろから自ら備えをしておくことが大切です。



(1) 個人情報に関すること


 平成29年5月から、個人情報を集めたり、管理したりするときのルールが厳しくなったのは知ってるかの？


 うーん、よくわかんない…。


 うむ。個人情報を集める前、集めるとき、保管しているとき、それぞれの場面でルールがあるんじゃ。


 へえ～。じゃあ、集める前のルールって？


 集める前には、個人情報の利用目的を決めておく必要があるんじゃ。


 利用目的？


 例えば、「名簿を作って、会員に配付する」とか「災害時の安否確認リストを作る」とかじゃ。できるだけ具体的な方がいいんじゃ。


 じゃあ、集めるときは？


 集めるときには、本人に利用目的を知ってもらおう必要があるんじゃ。


 1人1人に説明するの？


 それでもいいし、個人情報を書いてもらう紙に利用目的を書いていてもいいんじゃ。


 じゃあ保管しているときは？


 保管するときには、まず、カギ付きのロッカーや引き出しにしまうなど、盗難、紛失などがないように気をつけるんじゃ。


 そうなんだー。


 名簿を配った会員にも、盗難、紛失、あと、転売などもしないように呼びかけることも大切じゃ。


 ほかに何か気を付けることがあるの？


 そうじゃな。個人情報に間違いがあったとき、主催者の誰に言えばいいのかなどの連絡先を相手方に知らせて、適切に対応することも必要じゃ。


 まあ、当たり前といえばそうかもしれないけど…なんか大変だね。


 そうじゃが、逆に、きちんと管理してくれることを分かってもらえたら、個人情報も集めやすくなるかもしれないから。


 そうなんだね～。それで、集めた個人情報は、誰にも提供できないの？


 基本的には、集めたときの利用目的以外は、本人の同意がなければ提供してはダメじゃ。

基本的には？

そうじゃ。例えば、法令に基づいて警察から照会があったとき、災害時などに人命や財産を守るとき、名簿の印刷を業者に発注するときには、同意がなくても提供できるんじゃ。

そのとき、気をつけることは？

うむ。いつ、誰に、何を、なぜ提供したのかを記録して、一定期間保管しておく必要がある。

どうして？

本人から、「誰かに個人情報を提供した？」と聞かれたときに、「わかりません」だと、理解も信頼もされんからの。

それなら、名簿を印刷する業者も同じだね。

そうじゃ。ちゃんと、個人情報を適切に管理してくれるところに頼むことが大切じゃ。

で、今さらだけど、そもそも個人情報ってどういうものなの？

個人情報とは「特定の個人がわかるもの」じゃ。名前に関連づけて管理される住所、電話番号、メールアドレス、町内会等での役職などじゃ。

役職もそうなの？

うむ。例えば、町内会の名簿を持っている人にとっては、「会長さん」で、誰か特定できるじゃろ？

この場合は、「会長さん」は明らかに個人情報じゃ。

うん。

じゃが、町内会の名簿を持っていない人にとっては、「会長さん」と言われても、どこの誰かはわからんじゃろう？

うん。

そうだね。

だから、この場合は、「会長さん」だけじゃあ個人情報にはならないんじゃ。

でも、名簿を見たらわかるよね。

そうじゃ。誰かに名簿を見せてもらったり、聞いたりしたら、個人を特定できるじゃろ？

そうだね。

そうやって、他の情報と関連させて個人を特定できるときは個人情報にあたるんじゃ。普通、役職は名簿に載るから、個人情報とっておいた方がいいんじゃ。



詳しいことは、「個人情報保護委員会」のホームページで調べたり、相談ダイヤルで聞いてみたらいいぞ。

なるほど～。



わかった～。



(2) 防災行事に必要な手続きなど



防災の行事に必要な手続きって何かあるの？

そうじゃな。火を使うときと、食べ物を扱うときには必要な手続きがあるんじゃ。



何をしないとイケないの？

まず、火を使うときじゃが、このときには消防署に届出が必要ながあるんじゃ。



へえ…。なんで？



きっかけは、平成25年8月の福知山花火大会での火災じゃ。露天の屋台が爆発し、多数の死傷者が発生した事故を踏まえて、参加者の安全対策を強化したんじゃ。



そうなんだ。火を使うってキャンプファイヤーとか？



それだけじゃないぞ。コンロ、フライヤー、ストーブ、発電機など、火事が起こる恐れがある器具を使うときには届けが必要じゃ。消火器も必要じゃよ。



えーっ！？じゃあ、家の庭でやるバーベキューとかでもいるの？



いや、個人的にやるときには必要ないんじゃ。防災行事では不特定多数の人が集まるじゃろ？そういうときには必要なことがあるんじゃ。



そうなんだ。町内だけでやるときでも？



周囲の状況もあるから、そういったことも含めて、火を使うときは消防署に相談するといいんじゃ。消火器の大きさなんかも教えてくれるぞ。



そうなんだね。あと、食べ物を扱うときっていうのは？



食べ物を扱うときは、保健所じゃ。やっぱり、食中毒は怖いからのお。



確かに。たくさんの人が集まるから、前の日から準備も必要だしね。



ちょっと待て！それは危険じゃ！
食中毒の菌は、時間の経過とともに増えるんじゃ。食中毒を防ぐために、できるだけ食べる直前に調理するんじゃ。

えー。そうなの…？カレーとか、2日目のがおいしいじゃん！



そういうのは、許可された施設で作られるから安全なんじゃ。そういう意味では、状況によって家庭のカレーも危ないんじゃよ。

そうなんだ…。



うむ。保健所に催し物開催届を出すときに、催しの内容によって、いろいろな安全対策を教えてもらえるんじゃ。そういうアドバイスを参考に、防災行事も安全に実施してほしいんじゃ。

はい！

(3) 権利侵害など



ほかに、防災行事で何か気をつけることはあるの？

うむ。直接的ではないんじゃが、他人の権利侵害には気をつける必要があるのお。



権利侵害？



例えば、防災行事のチラシを、インターネットからダウンロードしたイラストを使って作る際には、著作権を侵害していないか、ちゃんと注意書きを読むことが大切じゃ。



なるほど。



他にも、訓練の様子を写真に撮るじゃろ？



うん。



その写真を、チラシやインターネットで使うときは、写真に写っている人に説明することも必要じゃ。写りたくない人もおるからの。



確かにそうだね。



ほかにも、いろいろと気をつけないといけないことはあるかもしれん。じゃから、もし、良くないところを誰かに指摘されたら、その話をよく聞いて、改善できるところをしていくことで、みんなで訓練をつくることができるようになるんじゃ。



なるほど。わかったよ！



どーすりゃあええ？

～自主防災会の結成手続～

自主防災会を結成した場合、又は結成後に防災訓練の実施や地域防災マップを作成した場合には、岡山市から防災資機材の給付等の支援が受けられます。

誰が	どんなときに	どこから	どんな支援が	上限は	注意は
単位町内会等	自主防災会の結成	危機管理室	防災資機材の現物支給	10万円	単位町内会と連合町内会の重複申請が可能
連合町内会等	自主防災会の結成	危機管理室	防災資機材の現物支給	30万円	
自主防災会	防災訓練の実施	危機管理室	防災資機材の現物支給	2万円	複数の自主防災会が合同申請する場合、自主防災会数×2万円
自主防災会	地域防災マップの作成	危機管理室	マップ複製印刷物の支給	3万円	3年度に1回

※2018年4月1日現在の支援一覧です。変更になることがありますのでご注意ください。

じゃあ、自主防災会を結成するにはどうしたらいいの？

どうすりゃあええかって？そりゃあ、簡単じゃろ。危機管理室に自主防災会の結成届を提出するだけじゃ。

結成届？何か難しそう。ほかに必要な書類があるの？

ぼっけえ簡単じゃ。結成届には、自主防災会の名称、結成年月日等を記載するだけじゃ。そのほかに、自主防災会の規約、編成と役割分担図、区域図と防災資機材保管場所位置図を提出するだけじゃ。






あー、嫌になってきた。簡単じゃないよ。

安心せえ。危機管理室のホームページを見てごらん。提出する書類の様式が掲載されているじゃろ。

本当だ！でもできるか不安だよ！

そうじゃな。危機管理室に問い合わせすれば、丁寧に教えてくれるから大丈夫じゃ。

わかった。やってみるよ！

第6章

資料集

この章では、防災に関するさまざまな資料を掲載しています。



(1) 各種研修

事業名	URL	担当課 電話番号
防災まちづくり学校	http://www.city.okayama.jp/soumu/bousai/bousai_00085.html	岡山市危機管理室 (086)803-1082
e-ラーニング応急手当講座	http://www.city.okayama.jp/shoubou/kyuukyuu/kyuukyuu_00023.html	岡山市消防局救急課 (086)234-9967
実技救命講習	http://www.city.okayama.jp/shoubou/kyuukyuu/kyuukyuu_00024.html	岡山市消防局救急課 (086)234-9967
救命入門コース	http://www.city.okayama.jp/shoubou/kyuukyuu/kyuukyuu_00022.html	岡山市消防局救急課 (086)234-9967
普通救命講習	http://www.city.okayama.jp/shoubou/kyuukyuu/kyuukyuu_i00049.html	岡山市消防局救急課 (086)234-9967
上級救命講習	http://www.city.okayama.jp/shoubou/kyuukyuu/kyuukyuu_i00052.html	岡山市消防局救急課 (086)234-9967
応急手当普及員講習	http://www.city.okayama.jp/shoubou/kyuukyuu/kyuukyuu_i00047.html	岡山市消防局救急課 (086)234-9967
救急法基礎講習	http://www.okayama.jrc.or.jp/workshop/index01_html	日本赤十字社岡山支部 (086)221-9595
水上安全法短期講習	http://www.okayama.jrc.or.jp/workshop/index02_html	日本赤十字社岡山支部 (086)221-9595
幼児安全法短期講習	http://www.okayama.jrc.or.jp/workshop/index04_html	日本赤十字社岡山支部 (086)221-9595
健康生活支援講習	http://www.okayama.jrc.or.jp/workshop/index05_html	日本赤十字社岡山支部 (086)221-9595
防災士	http://bousaisi.jp/	認定特定非営利活動法人 日本防災士機構 (03)3234-1511

(2) 本市及び関連機関等の防災・減災関連事業

事業名	URL	担当課 電話番号
自主防災会結成	http://www.city.okayama.jp/soumu/bousai/bousai_00046.html	岡山市危機管理室 (086)803-1082
岡山市自主防災会防災資機材及び地域防災マップ給付事業	http://www.city.okayama.jp/soumu/bousai/bousai_00046.html	岡山市危機管理室 (086)803-1082
岡山市自主防災会備蓄食糧給付事業	http://www.city.okayama.jp/soumu/bousai/bousai_00046.html	岡山市危機管理室 (086)803-1082
岡山市ハザードマップ	http://www.city.okayama.jp/soumu/bousai/bousai_00219.html	岡山市危機管理室 (086)803-1082
地域防災協定	http://www.city.okayama.jp/soumu/bousai/bousai_00165.html	岡山市危機管理室 (086)803-1082
防災備蓄土及び土のう袋給付事業	http://www.city.okayama.jp/toshi/kasenkouan/kasenkouan_00004.html	岡山市下水道河川計画課河川防災室 (086)803-1434
岡山市区づくり推進事業	http://www.city.okayama.jp/network/network_00287.html	岡山市市民協働企画総務課 (086)803-1061
岡山市防災キャンプ推進事業	http://www.city.okayama.jp/hofuku/kodomokikaku/jisedai0015.html	岡山市地域子育て支援課青少年育成係 (086)803-1607
貸出ビデオ一覧表	http://www.city.okayama.jp/shoubou/yobou/yobou_00209.html	岡山市消防局予防課 (086)234-1199
消防車両のペーパークラフト	http://www.city.okayama.jp/shoubou/yobou/yobou_00211.html	岡山市消防局予防課 (086)234-1199
建築物の耐震診断補助制度について	http://www.city.okayama.jp/toshi/kenchikusidou/kenchikusidou_00217.html	岡山市建築指導課建築安全推進係 (086)803-1445
木造住宅耐震診断補助制度	http://www.city.okayama.jp/toshi/kenchikusidou/kenchikusidou_00017.html	岡山市建築指導課建築安全推進係 (086)803-1445
木造住宅耐震診断補助制度(補強計画)	http://www.city.okayama.jp/toshi/kenchikusidou/kenchikusidou_00017.html	岡山市建築指導課建築安全推進係 (086)803-1445
木造住宅耐震改修補助制度	http://www.city.okayama.jp/toshi/kenchikusidou/kenchikusidou_00017.html	岡山市建築指導課建築安全推進係 (086)803-1445
戸建て住宅耐震診断等補助制度	http://www.city.okayama.jp/toshi/kenchikusidou/kenchikusidou_00217.html	岡山市建築指導課建築安全推進係 (086)803-1445
建築物耐震診断等補助制度	http://www.city.okayama.jp/toshi/kenchikusidou/kenchikusidou_00217.html	岡山市建築指導課建築安全推進係 (086)803-1445
要安全確認計画記載建築物の耐震診断補助制度	http://www.city.okayama.jp/toshi/kenchikusidou/kenchikusidou_00268.html	岡山市建築指導課建築安全推進係 (086)803-1445
要緊急安全確認大規模建築物の耐震改修補助制度	http://www.city.okayama.jp/toshi/kenchikusidou/kenchikusidou_00268.html	岡山市建築指導課建築安全推進係 (086)803-1445
おかやま防災ポータル	http://www.bousai.pref.okayama.jp/bousai/	岡山県危機管理課 (086)226-7294
砂防教室	http://www.pref.okayama.jp/page/detail-32369.html	岡山県土木部防災砂防課 (086)226-7482
「出前講座」(講師派遣)	http://www.jma-net.go.jp/okayama/business/annai.html	岡山地方気象台業務・危機管理官室 (086)223-1721
「自然災害から命を守るために」DVD版の提供	http://www.jma-net.go.jp/okayama/dvdkouhou/dvdtop.html	岡山地方気象台 防災管理官室 (086)223-1334
HUG(避難所運営ゲーム)	http://www.pref.shizuoka.jp/bousai/e-quakes/manabu/hinanjyo-hug/index.html	静岡県地震防災センター (054)251-7100

(3) 近隣の防災センター

施設名称	URL	住所	電話番号
岡山市西消防署防災センター	http://www.city.okayama.jp/shoubou/nisi/nishisyobousaicenter01.html	岡山市北区野殿西町427番地1	(086)256-1119
倉敷市消防局防災センター	http://www.city.kurashiki.okayama.jp/15892.htm	倉敷市白楽町162番地5 倉敷市消防局・倉敷消防署合同庁舎1F	(086)426-1191
瀬戸内市防災センター	http://www.city.setouchi.lg.jp/kurashi/kurashitetsuduki/bosaisaigaisyobou/syobo/anzenshinjoho/1504075466638.html	瀬戸内市邑久町本庄1795番地	(0869)22-1493
人と防災未来センター	http://www.dri.ne.jp/	神戸市中央区脇浜海岸通一丁目5番2号	(078)262-5050
広島市総合防災センター	http://www.bousai-c.city.hiroshima.jp/012%20kodomokodomo.htm	広島市安佐北区倉掛二丁目33番1号	(082)843-0918
香川県防災センター	http://www.pref.kagawa.lg.jp/kikikanri/bousai/top.htm	高松市生島町689-11 (香川県消防学校教育訓練棟1階)	(087)881-0567
徳島県立防災センター	https://anshin.pref.tokushima.jp/bousai/	徳島県板野郡北島町鯛浜字大西165	(088)683-2000
E-ディフェンス 兵庫耐震工学研究センター	http://www.bosai.go.jp/hyogo/application/index.html	兵庫県三木市志染町三津田西亀屋1501-21	(0794)87-7320

施設名称	開館時間	休館日	入館料	その他割引	備考
岡山市西消防署防災センター	9:00～17:00 (入館は閉館1時間前まで)	年末年始	無料		
倉敷市消防局防災センター	9:00～17:00 (入館は閉館30分前まで)	月曜日 12月28日～1月4日			「指導依頼書」の提出が必要
瀬戸内市防災センター	9:00～17:00		無料		団体での研修を希望する場合は要事前連絡
人と防災未来センター	●日・火～木 9:30～17:30 (ただし7～9月 9:30～18:00) ●金・土 9:30～19:00 各日入館は閉館 1時間前まで	月曜日 12月31日、1月1日	大人600円 大学生450円 高校生以下無料	団体 障がい者 高齢者	
広島市総合防災センター	9:00～17:00	日曜、祝日、振替 休日、8月6日、 12月29日～1月3日	なし		有料の場合あり
香川県防災センター	9:00～17:00	月曜日 12月28日～1月3日	無料		団体での研修を希望する場合は要事前連絡
徳島県立防災センター	9:00～17:00	月曜・第1火曜・ 年末年始	無料		10名様以上でのご利用は、原則として事前予約
E-ディフェンス 兵庫耐震工学研究センター	9:00～17:30	土曜、日曜、祝日、 8月13日～15日、 年末年始	無料		完全予約制(先着順)

(4) 紹介マニュアル類

事業名	URL	担当課 電話番号
岡山市防災マニュアル 【詳細版第3版】	http://www.city.okayama.jp/soumu/bousai/bousai_00179.html	岡山市危機管理室 (086)803-1082
岡山市防災マニュアル 【多言語版第2版】	http://www.city.okayama.jp/soumu/bousai/bousai_00200.html	岡山市危機管理室 (086)803-1082
岡山市避難所運営マ ニュアル	http://www.city.okayama.jp/soumu/bousai/bousai_00174.html	岡山市危機管理室 (086)803-1082
地域防災マップ作成 マニュアル	http://www.gis.pref.okayama.jp/okayamacity/Agreement?IsPost=False&MapId=1070&RequestPage=%2fokayamacity%2fpositionselect%3fpl%3d3%26dtpold%3d%26mid%3d1070	岡山市危機管理室 (086)803-1082
津波避難訓練マニ ュアル	http://www.city.okayama.jp/contents/000243614.pdf	岡山市危機管理室 (086)803-1082
DIG（簡易型図上訓 練）実施マニュアル	http://www.city.okayama.jp/soumu/bousai/bousai_00174.html	岡山市危機管理室 (086)803-1082
ハザードマップ	http://www.city.okayama.jp/soumu/bousai/bousai_00219.html	岡山市危機管理室 (086)803-1082
要配慮者支援ガイド	http://www.city.okayama.jp/soumu/bousai/bousai_00166.html	岡山市危機管理室 (086)803-1082
標高マップ	http://www.city.okayama.jp/soumu/bousai/bousai_00226.html	岡山市危機管理室 (086)803-1082
緊急時に備えた家庭 用食料品備蓄ガイド	http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/anpo/gaido-kinkyu.html	農林水産省大臣官房政策 課食料安全保障室 (03)3502-8111（内線3804）
外国人住民のための 防災ガイドブック	http://www.pref.okayama.jp/page/detail-31559.html	岡山県国際課 (086)226-7283
岡山三川 洪水浸水想 定区域図	http://www.cgr.mlit.go.jp/okakawa/bousai/hanran_sim/sim/index.html	国土交通省 中国地方整 備局 岡山河川事務所 (086)223-5101
岡山市地震・津波等 被害想定結果【概要 版】（平成25年11月）	http://www.city.okayama.jp/soumu/bousai/bousai_00252.html	岡山市危機管理室 (086)803-1082
自治会・同窓会向け 会員名簿を作るとき の注意事項	http://www.ppc.go.jp/personal/life/faq/	個人情報保護委員会 (03)6457-9680

(5) 催し物で食品を取り扱う方へ

催し物で食べ物を扱う時は、家庭で食事を作るのと同じ感覚ではいけません。もし、食中毒事件が発生してしまうと、せっかくの催し物も台無しになってしまいます。

楽しい催し物にするためにも、次のことに注意しましょう。

【取り扱う食品について】

- 1 生ものは提供しないでください。
- 2 提供直前に加熱したものを提供してください。(かき氷など例外はあります)
- 3 生クリーム(クレープ等)は取り扱わないでください。
- 4 弁当等を作って販売しないでください。
- 5 持ち帰りはさせないでください。

【餅つきについて】

餅をついた後にあん等を包んで食べることは大変危険なのでやめましょう。

【カレーなどの煮込み料理について】

煮込み料理は、長時間煮込めば美味しくなりますが、前日から調理し、再加熱すると、食中毒を引き起こす細菌を増殖させてしまう可能性が高くなります。必ず当日調理しましょう。

【食品を取り扱うときの注意点】

食中毒を起こさないために次のことを守りましょう。

①菌をつけない(清潔)

- ・手洗いを十分に行いましょう。
- ・体調不良者(かぜ、おう吐下痢症、手指のけがなど)は調理しないようにしましょう。
- ・食品は素手で扱わず、使い捨て手袋等を活用しましょう。

②菌を増やさない(迅速・冷却)

- ・食品(原材料)の保管はクーラーボックス等を活用しましょう。
- ・前日からの調理、下ごしらえはやめましょう。
- ・調理は、提供直前に行いましょう。
- ・食品は持ち帰りさせず、その場で食べてもらうようにしましょう。

③菌をやっつける(加熱→殺菌)

- ・調理の際には中心部まで十分に加熱(中心を75℃で1分間)しましょう。
- ・ノロウイルス食中毒を予防するには、85℃で1分間の加熱が必要です。

④その他

- ・無理をして大量の食品を作って提供するのはやめましょう。
- ・髪の毛などの異物が入らないようにしましょう。

【食品の取扱場所について】

調理は催し物の会場で行いましょう。家庭の台所での事前調理はできません。食中毒予防の観点から次の設備を用意しましょう。

①三方囲い

屋外で食品を取り扱う場合は、テントを用意し側面も囲いましょう。また、屋内の場合は部外者が入れないように机等で区画しましょう。

②洗浄設備

取扱い場所に手指、食品、器具を洗うことができるように水を用意しましょう。また、薬用石けんやアルコール等を用意し、活用しましょう。

③冷蔵設備

冷蔵が必要な食品は、温度計を入れた冷蔵庫やクーラーボックス等で保存しましょう。10℃以下を保つために、クーラーボックスには冷媒または氷を入れましょう。

④食器類

使い捨てのものを利用しましょう。

【届出について】

食品を取り扱う催し物を行う時は、事前に保健所への届出が必要です。届出用紙は、保健所衛生課にありますので、催し物開催の1週間程度前までに提出してください。その際、食品の適切な取扱い等について説明をしますので、必ず代表者の方が来所してください。

【ご相談・お問い合わせ先】

岡山市保健所衛生課食品衛生係
岡山市北区鹿田町1-1-1 保健福祉会館2階
☎ (086) 803-1257

(6) 催し（イベント）における防火安全対策の強化

多数の方の集まる催し（イベント）において、火気器具を使用する露店等を開設する場合、所轄の消防署への届出と消火器の設置が必要！

● 多数の方の集まる催し（イベント）とは？

祭礼、縁日、花火大会、展示会その他の一時的に一定の場所に人が集まることで混雑が生じ、火災時に人命等への危険性が高まるものをいいます。

【届出・消火器設置の必要な例】

祭礼等のほか、学園祭、フリーマーケット、朝市、町内会の夏祭り、各種団体が主催する行事など

【届出・消火器設置の不要な例】

友人・親類同士によるバーベキュー等、参加者が個人的なつながりに留まるものなど

● 火気器具とは？

火を使用する器具、その使用により火災発生のおそれのある器具をいいます。

【器具の例】

石油、プロパンガス、炭、電気等を使用するコンロ、フライヤー、ストーブ、発電機など。
ホットプレート、カセットガスコンロなども該当

● 露店等とは？

露店、屋台その他これらに類するもので、物品等を販売・提供するものをいい、地域のお祭り・学園祭などにおける模擬店、移動店舗なども含まれます。

● 消火器の設置本数は？

火気器具を使用する露店等1店につき、原則1本必要です。

● ガソリンの貯蔵・取扱い時の留意事項

ガソリンを取り扱っている周辺で火気や火花を発生する機械器具等を用いない。

静電気による着火を防ぐためには、金属製容器で貯蔵するとともに、地面に直接置くなど静電気の蓄積を防ぐ必要があります。

ガソリン容器からガソリン蒸気が流出しないように、容器は密閉するとともに、ガソリンの貯蔵や取扱いを行う場所は火気や高温部から離れた直射日光の当たらない通風、換気の良い場所とすることが必要です。

ガソリン使用機器の取扱説明書等に記載された安全上の留意事項を厳守し、特にエンジン稼働中の給油は絶対に行わないようにしましょう。

【お問い合わせ先】

消防局予防課 (086) 234-9974

中 消 防 署 (086) 275-1119

北 消 防 署 (086) 226-1119

東 消 防 署 (086) 942-9119

西 消 防 署 (086) 256-1119

南 消 防 署 (086) 262-0119

(7) 自主防災会一覧 (2018年4月1日現在)

中学校名	小学校名	自主防災会名	中学校名	小学校名	自主防災会名		
福浜中学校	福浜小学校	福富中町内会防災会	福南中学校	南輝小学校	南輝学区松浜町内会自主防災会		
		福富西防災会			築港新町東町内会防災会		
		福成町内会第1自主防災会			築港新町中央町内会防災会		
		福成町内会第2自主防災会			築港緑町町内会防災会		
		福成町内会第3自主防災会			あけぼの町町内会防災会		
		福富東町内会防災会			並木町二丁目町内会防災会		
		新福防災会			築港ひかり町内会防災会		
		岡山豊浜町町内会			築港新町北町内会防災会		
芳田中学校	芳田小学校	当新田町内会防災会			光南台中学校	甲浦小学校	南輝町内会防災会
		芳田学区安全・安心ネットワーク自主防災会					郡町内会防災会
		新保西方町内会防災会	弁天町町内会防災会				
		芳田学区泉田西町内会防災会	北浦町内会防災会				
芳明小学校	米倉町内会防災会	芳泉中学校	芳泉小学校	浦安小学校			南区郡南平台町内会
							当新田団地町内会防災会
福田町内会防災会	宮浦町内会防災会						
豊成防犯防火部防災会	小串小学校						小串町内会防災会
芳泉町内会防災会							阿津町内会防災部
福富西三丁目町内会防災会	福田中学校						福田小学校
新浦町内会防災会					大福ニュータウン町内会防災会		
太刀洗町内会防災会					大福荒田町内会防災会		
浦安本町自主防災会					大福西町内会防災会		
浦安西町町内会防災会					中之町町内会防災会		
福南中学校		福島小学校	若葉町町内会防災会	光輝町内会防災会			
			千鳥町(東)町内会防災会	古新田東町内会防災会			
			千鳥町(西)町内会防災会	南大福町内会防災会			
			並木町一丁目町内会防災会	大福スカイタウン町内会防災会			
			築港栄町町内会防災会	東北町内会防災会			
	立川町町内会防災会		山田町内会防災会				
	福吉町防災会		坪井大年町内会防災会				
	海岸通町内会防災会		古新田西町内会防災会				
	築港元町町内会防災会		東畑町内会防災会				
	かえで町内会防災会		大福東町内会防災会				

中学校名	小学校名	自主防災会名	
福田中学校	福田小学校	東小沖町内会防災会	
		妹尾崎町内会防災会	
興除中学校	曾根小学校	西畦町内会防災会	
		曾根大西町内会防災会	
		曾根西中町内会防災会	
		曾根東自主防災会	
		曾根旭自主防災会	
		曾根東沖町内会防災会	
		興除小学校	内尾南町内会防災会
	東畦小学校	東畦第二町内会防災会	
		せのおニューシティ自治会防災会	
		みどり団地町内会防災会	
		東畦第一町内会防災会	
		東畦東町町内会防災会	
		東畦第五町内会防災会	
		妹尾中学校	妹尾小学校
	妹尾さわやか団地防災会		
	妹尾郷町内会防災会		
	妹尾学区中前町町内会		
	高尾西町内会防災会		
	箕島小学校	駒形町内会防災会	
		岡山市東新田町内会防災会	
		赤松町内会自主会	
		汗入町内会防災会	
		ビ・ウェル町内会防災会	
藤田中学校	第一藤田小学校	藤田第一学区大曲東町内会自主防災会	
		藤田第一学区大曲西町内会自主防災会	
		藤田第一学区大曲中町内会自主防災会	
		藤田第一学区大曲団地町内会自主防災会	
		都南沖町内会自主防災会	

中学校名	小学校名	自主防災会名	
藤田中学校	第一藤田小学校	都北沖町内会自主防災会	
		都南丘町内会自主防災会	
		都北丘町内会自主防災会	
		417団地町内会自主防災会	
		418団地町内会自主防災会	
		東新川町内会自主防災会	
		桜川町内会自主防災会	
	都東団地町内会自主防災会		
	第二藤田小学校	錦東町町内会防災会	
		東新町第一町内会防災会	
		スズラン藤田町内会防災会	
		エバーグリーン錦町内会防災会	
		第三藤田小学校	第三藤田学区都六区連合町内会防災会
灘崎中学校			灘崎小学校
	岡山市灘崎町川張地区自主防災会		
	西高崎町内会防災会		
	迫川分校	奥迫川自治会防災会	
		茂曾路町内会防災会	
		南区迫川町内会防災会	
	七区小学校	北七区町内会防災会	
		南区西紅陽台自治会防災会	
		西七区町内会防災会	
	彦崎小学校	西植松町内会防災会	
		灘崎町レックタウン地区防災会	
		岡山市灘崎町彦崎地区自主防災会	
		植松防災会	

(8) 訓練をする場合の相談先一覧

名 称	電話番号
危機管理室	(086)803-1082
南消防署	(086)262-0119
南消防署妹尾出張所	(086)282-7119
南消防署灘崎出張所	(086)363-5119
南区役所総務・地域振興課	(086)902-3502
福田公民館	(086)282-3773
南公民館	(086)263-7919
興除公民館	(086)298-2660
芳田公民館	(086)245-0688
福浜公民館	(086)265-4835
藤田公民館	(086)296-2185
妹尾公民館	(086)282-4747
光南台公民館	(086)267-1255
岡南公民館	(086)262-3483
灘崎公民館	(086)362-0408
西保健センター	(086)281-9625
南保健センター	(086)261-7051
水道局企画総務課	(086)234-5906
NTT西日本岡山支店	0120-019000
岡山市社会福祉協議会南区西事務所	(086)281-0027
岡山市社会福祉協議会南区南事務所	(086)263-0012
日本赤十字社岡山県支部	(086)221-9595

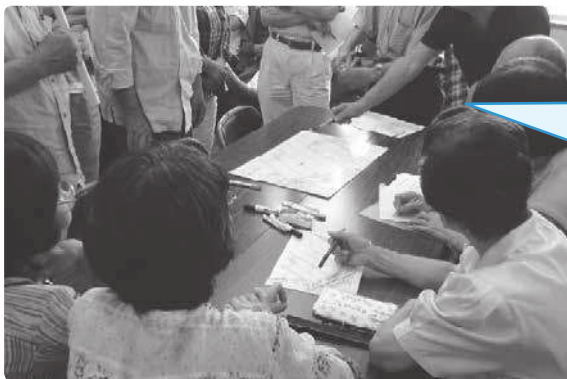
実際にどんな訓練をしているの？

Vol.2



42ページに続き、訓練の様子を見に行ってみよう。

いよいよ最後だね。頑張って見に行こう！



災害図上訓練（DIG）をしている様子じゃ。地図上に緊急時に役に立つ情報を書き込み、有効な情報をみんなが共有するのじゃ。災害を想定し、対応をシミュレーションすることが大切じゃ。



避難所宿泊訓練の様子じゃ。災害時には小学校の体育館等が避難所として開設される。実際に宿泊すると、マットやシート、寝袋等、自分自身での備えが大切であることを感じる人も多いと思う。



最後のまとめ

災害はいつ起こるか分かりません。南海トラフ巨大地震は今後30年間で70～80%の確率で発生すると言われています。頻発するゲリラ豪雨や台風にも備えなくてははいけません。災害が起きた時、何をどうしたら良いかがすぐには分からないと思います。やはり普段からの訓練が大切となります。このハンドブックを活用して地域を守る訓練に取り組んでください。

岡山市防災訓練ハンドブック

2019年1月
発行：岡山市

※このハンドブック内の情報は発行時のもので、変更となっている場合もありますので、ご了承ください。



岡山市南区防災訓練ハンドブック

2019年1月発行